

1 令和 7 年度事業計画重点項目に関する総括

本会は、事業計画に掲げた基本方針を踏まえて、地域福祉の推進役としての役割を果たすべく、宗像市をはじめ地域及び各関係機関・団体との連携・協働のもと、様々な福祉事業に取り組みました。

基本方針に掲げた重点項目の実施状況は、以下のとおりです。

（１）「第５次地域福祉活動計画」に基づく本会経営・事業の実施（計画年度：R7～R11 年度）

■令和7年度を初年度とする「第5次地域福祉活動計画（以下「第5次計画」という。）に沿って市総合計画との整合性を図り、行政と連携して各種事業に取り組むとともに、「地域共生社会の実現」に向け、社協の役割を果たしていきます。

【実施状況】

■令和7年度から令和11年度までの5年間を期間とする「第5次地域福祉活動計画（福祉の里とともにいきるまち宗像を目指して）」の初年度として、子ども・高齢者・障がい者など全ての人が自分の住み慣れた地域で豊かさを実感できる『地域共生社会の実現』に向けた地域福祉事業の取り組みを進めました。

■第5次計画における社会福祉協議会が推進する地域福祉等は、国が求める「地域共生社会の実現」や「地域包括ケアシステムの推進」等だけではなく、「新・社会福祉協議会基本要項」に基づく住民主体・住民参画の原則と持続可能な開発目標（SDGs）を前提として、地域住民が担える新たな役割分担による地域福祉等の事業設計と事業展開が基本であると考えています。

（２）福祉教育の推進

■保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の福祉教育推進校で実施する福祉教育にとどまらず、地域及び企業・事業所等との連携を図って、障がいのある人や高齢者を含めた地域の様々な人との関わりなどあらゆる事業場面を福祉教育の機会として捉え、「地域共生社会の実現」に向けた基盤づくりを進めます。

【実施状況】

■令和7年度も、福祉教育推進校（園）において、様々な福祉教育に取り組んでいただきました。小学校では、福祉ボランティア団体や障がいのある方、シニアクラブや福祉会など地域住民の協力も得ながら、手話体験、アイマスク・ガイド体験、車いす体験、点字体験、高齢者疑似体験、認知症サポーター養成講座、障がいのある方や地域の高齢者施設との交流などを実施しました。

また、中学校では、介護保険制度や認知症、地域の高齢者を支える団体（福祉会・民生委員児童委員協議会・シニアクラブ）についての学習や地域の高齢者との交流会を実施。高校においては、認知症サポーター養成講座を開催し、福祉教育の推進を図りました。

（３）社会福祉法人による公益的な取り組みの推進

■宗像市社会福祉法人連絡会の会員が相互に連携・協働し、地域のニーズや福祉課題を受け止めて、公益的な活動を進め、安心して暮らせる地域づくりに貢献します。これからも、本連絡会の事務局として、連絡会で実施する研修会、ふくし就職フェアなど様々な取り組みへの支援に努めます。

【実施状況】

■令和7年度は、役員会を10回、総会・学習会（1回）及び全体会議兼実務担当者会議（1回）を開催し、情報共有と意見交換を行いました。

また、人材確保の視点と社会福祉分野の仕事や制度内容等の周知・案内を図ることを目的とした「第2回ふくし就職フェア」（後援：宗像市、ハローワーク福岡東、福岡県社会福祉協議会）を開催いたしました。

■令和7年度から、市福祉政策課職員がオブザーバーとして出席することになり、社会福祉法人の課題解決や地域貢献活動について、市との連携強化を図りました。

(4) 地域の福祉課題を解決するための事業の拡充

■第9期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(以下、第9期介護保険事業計画という。:計画年度:R7～R9 年度)」に沿って、これからも「地域包括ケアシステム」の推進を図っていきます。その大きな柱の一つである生活支援体制整備事業(市委託事業)は、地域住民を主体とした地域福祉活動の推進及び地域における「つながり」をさらに広げ、住民相互の支え合いの地域づくりを進めます。第1層(市)と第2層(社協)の地域支え合い推進員が相互に連携をとりながら、地域のニーズや地域資源の情報共有及び地域資源の開発とネットワーク化等に取り組み、地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備を推進します。

また、支え合いによる地域づくりの推進を話し合う場「協議体(地域支え合い会議)」の拡充を図っていきます。

■認知症施策推進事業(市委託事業)では、「認知症施策推進大綱」及び第9期介護保険事業計画に基づき、オレンジコーディネーターを中心に認知症地域支援推進員及び市、関係機関と連携を図り、認知症の正しい理解の啓発に努めるとともに、オレンジ(認知症)カフェ、認知症サポーターの養成事業をはじめ、認知症地域支援・ケア向上事業、サポーター活動促進・地域づくり事業など、認知症にやさしいまちづくり(チームオレンジ)に向けた取り組みの充実を図っていきます。

■地域共生社会の実現を目指し市が推進する重層的支援体制整備事業は、市の役割、本会が担えるべき役割(市委託)を明確にし、それぞれ連携・協働を図り本会の強みを活かした事業を展開していきます。

【実施状況】

■地域包括ケアシステム主要事業の生活支援体制整備事業(市委託)について、第2層地域支え合い推進員(生活支援コーディネーター)を全ての日常生活圏域(6圏域)に各1名を配置し、第1層地域支え合い推進員(市)と連携しながら事業を推進しました。地域支え合い会議「協議体」の開催においては、地域住民をはじめ事業所や施設、病院、商店、学校など地域に関わる関係者が集まり、地域の通いの場や生活支援、地域の課題やその課題解決に向けた話し合いを行いまいした。また、コミュニティ単位と並行して、地域の実情を活かした形で、町内会・自治会単位、小学校単位で開催しました。そのほか、地域で主体的に取り組まれている多様な活動等を取材し、地域資源カードとして作成したものを紹介するなど地域資源(地域のお宝)啓発に努めました。

■認知症施策推進事業(市委託)では、令和6年度からチームオレンジコーディネーター(社協・認知症地域支援推進員)を2名に増員配置し、基幹型及び各圏域の地域包括支援センターの認知症地域支援推進員と連携を図り、事業を推進しました。認知症サポーターの養成、オレンジカフェの推進と併せて、チームオレンジサポーターの登録及びサポーターミーティングを定期的に開催し、認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らすための活動に取り組みました。

また、「本人ミーティング」の取り組みでは、「それでいい」、「まっちゃんの家」、「囲碁の会」、「王将の会」、「ゆりの会」、「みんなでやろう会」について、それぞれ毎月定例的に開催し本事業の拡充を図りました。

■重層的支援体制整備事業(市委託)では、市福祉政策課内に配置した相談支援コーディネーターが、相談支援機関等から寄せられた複雑・複合化した課題を抱える人や世帯に対し、アセスメントの実施や課題解決を図るための多機関協働事業に取り組みました。

また、分野を超えた相談員交流会を実施するなど、「相談とつながる」取り組みの強化を行いました。さらに、「地域とつながる」取り組みとして、地域福祉の現状や課題について市担当課と情報共有や協議・検討を行い、アウトリーチ事業、地域づくり事業、参加支援事業にも着手しました。

(5) 高齢者や障がいのある人への権利擁護事業の充実

■判断能力が不十分な人が、安全・安心に自立した生活を送ることができるよう、日常生活自立支援事業(県社協委託)やライフサポート事業及び法人後見事業を実施し、認知症高齢者や障がいのある人の尊厳ある暮らしの実現と自己決定支援を行います。

■成年後見制度の利用を促進するため、市が運営する中核機関や関係団体と連携・協力しながら、市民後見人や市民支援員の養成等を進め、権利擁護事業の充実を図っていきます。

【実施状況】

- 近年、利用者から求められる相談・支援内容はますます複雑・多岐になってきています。家族や事業所等の支援者は権利擁護の必要性を強く感じていますが、利用者自身に当該事業の利用意思が固まらず利用申請に至らないこともあり、新規相談の段階で将来を見据えて他制度や他機関につなぐ等して、より慎重に受入れるよう対応しました。また、今年度はライフサポート事業・日常生活自立支援事業の利用者 10 人を成年後見制度に移行しました。利用者を取り巻く様々な環境に対応するため、各法律の専門家や関係機関と連携を図りながら継続した支援を行いました。
- 法人後見事業においては、利用者のご逝去まで係わった支援行い 1 件終了となりました。新たに 1 件ライフサポート事業利用者の判断能力や生活状況を勘案し、弁護士と共同して後見受任し、計 4 件（後見 1 件・保佐 2 件・補助 1 件）の後見業務を担っています。
- 利用者の意向や課題等に対し、適切かつ迅速に対応できるよう様々な専門研修に参加するなど職員のスキルアップに努めるとともに、市民生活支援員（臨時職員）を 1 名増員し、生活支援コーディネーター（常勤職員）と一緒に支援する体制を強化しました。

（6）障害者生活支援センター事業の充実

- 障がいのある人やその家族を対象に、障がい福祉サービスの利用援助や生活全般に関する相談支援などを行います。支援にあたっては、本人の意思決定を尊重した利用者本位の視点で取り組みます。
- 基幹相談支援センターとして、地域の相談支援事業所が行う「計画相談支援」への助言・指導及び対応困難なケースへの総合的・専門的な支援を行います。
- 市と協働運営をしている宗像市障害者自立支援協議会を活用し、地域の障がい者関連施設や医療機関、地域資源等との連携を図り、障がいのある人が安心して地域で生活ができるような体制づくりを進めていきます。
- 保健、医療、福祉、子育て、教育等の必要なサービスを総合的に調整し、医療的ケア児等とその家族に対しサービスを紹介するとともに、関係機関と医療的ケア児等とその家族をつなぐ役割を担う「医療的ケア児等コーディネーター」の取り組みを行います。
- 障害者虐待防止センターとして、障がい者虐待の早期発見や迅速な対応を行います。また、障がい者福祉施設等を対象にした研修を実施し、虐待の未然防止に努めます。

【実施状況】

- 主任相談支援専門員の資格取得や障害者差別解消法などの研修を受講し、本人の意思を尊重した利用者支援や将来を見据えた自立につながる相談支援を行いました。
- 基幹相談支援センターとして、中立・公平な相談支援事業を実施するとともに、市における相談支援の中核的な役割を担い、相談支援事業所が行う「計画相談支援」への助言・指導、支援に努めました。また、職員の知識の研鑽・資質の向上を図るために、各種研修等へ積極的に参加しました。
- 関係機関や事業所、地域との連携を図り、地域課題の解決に向けて市と協働して障害者自立支援協議会の運営に努めました。今年度は部会の新たな取り組みとして、相談支援ネットワーク会議で出された意見を踏まえコア会議を開催しました。その結果、令和 8 年度より主任相談支援専門員を中心とした「相談支援専門員の集い」を新たに実施する運びとなりました。
- 障害者虐待防止センターとして、障害者虐待に関する通報及び相談への対応を迅速かつ適切に行い、関係機関との連携を図りながら、被虐待者の安全確保と支援体制の構築に努めました。また、障害者虐待の未然防止及び関係者の理解促進を目的とした研修事業については、障害者自立支援協議会権利擁護部会と共同で研修会を開催し、「障害者虐待防止の概要について」のテーマで、障害福祉サービス事業所等の職員を対象に講演を実施しました。

(7) 宗像市ボランティアセンター事業の充実

- 子どもから高齢者まで幅広い年齢層にわたるボランティア活動の希望や依頼に関する情報を集約し、市内のボランティア資源を活用しながら、様々なボランティア活動の調整業務を行っています。また、ボランティア活動のさらなる活性化のため、「むなかたボランティアシステム(MVS)」の利便性を広く周知するなど、情報発信に努めます。
 - 地域のニーズに応じた福祉ボランティアの養成と支援、連携と協働による活動を展開していきます。
 - 様々な災害時の対応を見据え、地域住民、関係団体・機関及び地域資源の把握と連携強化、地域住民同士のつながりづくりを推進していきます。
- 災害ボランティアセンターの設置・運営に対応できる体制の構築を図っていくとともに、市及び関係団体・機関と連携した設置訓練を実施します。

【実施状況】

- ボランティア活動の更なる活性化を図るため、「むなかたボランティアシステム(MVS)」について、利便性などを広く周知するとともに、宗像市ボランティアセンターInstagram、公式LINEを活用し、各事業や催しのボランティア募集などの情報発信を行いました。子どもから高齢者まで幅広い年齢層にわたるボランティア活動の希望や依頼に関する情報を集約し、様々なボランティア活動の調整に努めました。
- ボランティア活動を始めたい人、関心のある人などを対象とした「ボランティア入門講座」では、傾聴について学び、ボランティア活動への第一歩となる幅広い選択の機会としました。また、小学校高学年を対象とした「ジュニアボランティアスクール」は、障がい者・高齢者・認知症について考え、理解を深めながら一緒に楽しめる「オレンジカフェ」を開催するなど、福祉教育についての推進を図りました。

(8) 発達支援センター療育施設「のぞみ園」の経営改善とサービスの充実

- 令和6年度に変更指定された“児童発達支援センター”として、果たすべき役割・機能などを踏まえ、今後目指すべき「のぞみ園」の事業展開等について、指定事業者である市とともに引き続き検討を進めます。
- 児童発達支援センターの機能の一つである“幅広い専門性に基づく発達支援・家族支援”を提供するため、スタッフの研修、情報収集、関係機関及び事業者との連携等を進めます。
- 保育所等訪問支援事業のニーズに対して、量的な拡大とサービスの質の向上を進めるとともに、保育所・幼稚園等との連携を基盤とした地域的な児童発達支援の拡充に努めます。
- 相談支援事業所「のぞみ」は、市の発達相談からの紹介ケースに対し、的確なアセスメントに基づくサービス利用計画の作成とサービス提供事業者との調整を行い、当事者にとって最適なサービスが受けられるよう、幅広い柔軟な相談支援に努めます。

【実施状況】

- 宗像市の方針に基づき令和6年6月に児童福祉法に規定される児童発達支援センターに変更指定されてから2年目となり、地域における就学前児童に向けた発達支援の中核的な役割を担うべく事業推進を図りました。
- 児童発達支援センターには、①幅広い高度な専門性に基づく発達支援・家族支援機能、②地域の障害児通所支援事業所に対する助言・援助機能、③地域のインクルージョン推進の中核機能、④地域の発達支援に関する入口としての相談機能の4つの機能を備えることが求められているため、スタッフの研修事業の拡充をはじめ、関係事業所・機関等との連携体制づくりなどセンターとしての取り組みに努めました。
- センターとして幅広い専門性の高い発達支援・家族支援を提供するため、臨床心理士等の専門職の配置拡充をはじめ、児童発達支援管理責任者、強度行動障がい支援者等の養成講座の受講、地域内の関係事業所や保育所・幼稚園等との合同勉強会の開催、その他各種支援者研修会等に積極的に参加しました。
- 「のぞみ園」と保育所・幼稚園による利用児に対する支援内容及び支援方法等の共有を図るため、令和5年度から開始した保育所等訪問支援事業の拡充を目指していましたが、運営体制の課題などから、前年度と比べても量的な拡大は実現できませんでした。
- 「のぞみ園」とともに一体的に宗像市から業務委託を受けている障害児相談支援事業所「のぞみ」については、地域の事業所との日常的な連携関係を生かしながら、利用者のニーズを的確にサービス等利用計画に反映し、最適なサービスの提供を支えました。宗像市子ども支援課発

達支援係からの紹介の増加に伴い、新規・更新の件数は増加しています。モニタリングについては、相談員の増員により体制が安定したことで、これまで以上に実績を上げることができました。

（９）介護・福祉サービス事業経営の安定化と必要な改善の実施

- 障がいがあっても、要介護状態となっても自らの有する能力を最大限活かして、住み慣れた地域（自宅）で自分らしい「のぞむ暮らし」が続けられるよう、利用者本位の介護・福祉サービスの提供を継続して行います。
- 令和９年度の介護保険法等の改正や介護報酬等改定後も指定介護・福祉事業経営が維持できるよう情報収集と具体的な業務の見直し、改善を継続して行います。
- 利用者の多様化・複雑化した課題に対処するため、従来の介護・医療・福祉分野を超えたより幅広い多機関多職種との連携を図り、協働して介護・福祉サービスを行います。

【実施状況】

- 訪問介護事業では、利用者確保に努めるとともに、事務の効率化と業務上の課題整理を進めました。具体的には市の補助事業を活用し、職員アンケートを実施することで、職場環境を含めた現状の問題点を把握し、改善の優先順位を明確化しました。さらに、ヘルパー間の情報共有を円滑にするアプリの導入や、文書作成における IT ツールの活用を進め、限られた時間の中で訪問業務と事務作業を効率的に進められる体制づくりに取り組みました。
- 居宅介護支援事業では、利用者確保に向けて、地域包括支援センターへの定期的な訪問や地域の高齢者介護の現状など、意見交換を交えて連携強化を図りました。併せて、医療機関や福祉サービス事業所との連絡調整を行い、相談支援体制の充実に努めました。また、利用者本位のサービス提供を実現するため、他部署との情報共有やケース検討を行い、切れ目のない支援体制の構築を進めました。
- 各事業の経営改善に向けて、介護保険事業等経営検討会議を開催し、経営状況の可視化を進めました。その中で、介護部門にとどまらず、組織全体で改善に取り組む方針を再確認しました。これを踏まえ、社協の強みである公益性やこれまでの事業実績を活かした事業展開の方向性を整理し、『居宅介護課経営改善計画』を策定しました。

2 法人運営に関する事業

(1) 本会の運営に関する事業

■理事会の開催【3回開催 22議案】

開催時期・会場	議案番号・議案
第1回 ■令和7年 6月5日 ■メイトム宗像 202会議室	第1号議案 評議員候補者の推薦について 第2号議案 令和6年度事業報告について 第3号議案 令和6年度決算報告並びに監査報告について 第4号議案 令和7年度第2回評議員会の日時及び場所並びに議題・議案について
第2回 ■令和7年 6月25日 ■メイトム宗像 203会議室	第5号議案 会長の選任について 第6号議案 副会長の選任について 第7号議案 常務理事の選任について 第8号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について
第3回 ■令和8年 3月12日 ■メイトム宗像 202会議室	第9号議案 評議員候補者の推薦について 第10号議案 職員就業規則の一部改正について 第11号議案 嘱託職員の雇用等に関する就業規則の一部改正について 第12号議案 常務理事の設置に関する規程の一部改正について 第13号議案 役員等の報酬等に関する規程の一部改正について 第14号議案 事務局長の設置に関する規程の一部改正について 第15号議案 宗像市障害児通園施設のぞみ園の園長に関する規程の一部改正について 第16号議案 職員給与規程の一部改正について 第17号議案 嘱託職員の給与に関する規程の一部改正について 第18号議案 臨時職員賃金規程の一部改正について 第19号議案 令和8年度事業計画(案)について 第20号議案 令和8年度予算(案)について 第21号議案 令和8年度第1回評議員会の日時及び場所並びに議題・議案について 第22号議案 経理規程の一部改正について

■評議員会の開催【2回開催 20議案】

開催時期・会場	議案番号・議案
第1回 ■令和7年 6月25日 ■メイトム宗像 202会議室	第1号議案～第12号議案 理事の選任について 第13号議案・第14号議案 監事の選任について 第15号議案 令和6年度事業報告について 第16号議案 令和6年度決算報告並びに監査報告について
第2回 ■令和8年 3月24日 ■メイトム宗像 202会議室	第17号議案 常務理事の設置に関する規程の一部改正について 第18号議案 役員等の報酬等に関する規程の一部改正について 第19号議案 令和8年度事業計画(案)について 第20号議案 令和8年度予算(案)について

(2) 経営戦略会議の開催

- 事業説明：本会の運営に関する諸事項について、基本的な方針を検討・決定する会議。
- 出席者：会長、常務理事、事務局長、総務福祉課長、居宅介護課長、のぞみ園長
- 開催時期：原則として毎月最終水曜日

(3) 計画的な職員研修の開催

- 事業説明：社会福祉の現場で働く職員として必要な安全運転や人権等の研修を実施。

実施事業	実施時期	主な活動内容
安全運転管理者講習会	■オンライン受講	対象者：居宅介護課長、総務福祉課長 内容：道路交通法に定められた安全運転管理者の講習及び簡易テスト。
職員人権研修会	■12月1日 ■メイトム宗像202会議室	対象者：原則として常勤日勤臨時職員以上。 出席者数：40人 演題：『カスタマーハラスメントについて』 講師：株式会社アンビシャス 代表取締役 月橋 一浩 氏

(4) 定例監査の実施

- 事業説明：法人の適切な経営を行うため、年3回定期的に監事による会計等の監査を実施。決算監査の結果については、年度の第1回理事会・評議員会にて報告。

(5) 労働安全衛生委員会の実施

- 事業説明：本会の労働安全衛生や労働環境に関する諸事項について、基本的な方針を検討・決定する会議。
- 委員：事務局長、総務福祉課長、居宅介護課長、衛生管理者、各部署代表等
- 開催時期：偶数月の第2木曜日

(6) 宗像市社会福祉法人連絡会の運営支援

- 事業説明：宗像市内に事業所のある25の社会福祉法人で構成する「宗像市社会福祉法人連絡会」が、平成30年11月に発足。現在、28法人で構成。本会は事務局として、役員会・全体会議兼実務者会議等の運営を行った。
- 会議等

役員会	4/16, 5/14, 6/11, 7/4, 8/8, 9/10, 10/15, 2/10, 3/6
総会・学習会	4/30 18法人参加 学習会：『人材確保（現状と課題）について』（グループワーク）
全体会議兼実務者会議	8/28 19人参加 学習会：『宗像市のまちづくり～ずっと住みたいまち宗像を目指して～』 講師：宗像市役所 経営企画部 経営企画課長 狩野長江 氏
ふくし就職フェア	1/17 10:00～14:00、9法人参加、メイトム宗像 ・就職面談ブース ・介護・福祉に関する相談ブース ・ハローワーク就職相談ブース ・福岡県社協福祉人材センターブース ・食品販売 ・介護機器展示 ※開催に向けた実行委員会を3回行った（11/5、12/3、1/7）

3 “ともにいきるまち宗像” 推進事業の充実

(1) 生活支援体制整備事業（市委託事業）

■事業説明

平成31年4月に宗像市より事業の委託を受け、市内全域を圏域とする第1層、中学校区を圏域とする第2層を受託。令和2年度からは第2層を受託し、6圏域に地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）を配置。また、コミュニティ単位を核とする「協議体」の運営や既存の活動、地域資源等の把握を行い、新たな活動の創出に向けた取り組み等を行うもの。

■事業内容：

第2層（圏域/中学校区/6圏域）

■職員体制：第2層地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）6人

■業務内容：

(1) 協議体の設置・運営

- ・コミュニティごとに12の協議体を設置し、各地域の実情や課題に応じたテーマをもとに話し合いの場（協議体）を設けた。
- ・協議体（話し合いの場）には、地域の住民をはじめ、コミュニティ、事業所、商店、施設、学校等の関係者が参加した。

地区	協議体の名称	開催日	話し合いのテーマ(抜粋)
吉武	よしたけ福祉の郷づくり	【地区】6/10、1/30 【高六】11/5	【地区】 ・公民館での通いの場・居場所づくりについて話しましょう ・吉武地区で行われている活動について教えてください！ 【高六】 ・地域の現状確認と情報共有、今後の展開について考えよう！
赤間	いいとこ発見	【地区】7/24、11/27 【名残】5/30 【葉山】6/21 【赤間】12/13	【地区】 ・認知症を理解して地域で出来ることを考えよう ・他の自治体の取り組みを聴いて、自分たちの活動に活かそう！！ 【名残】 ・気軽に楽しい自由な居場所づくりについて 【葉山】 ・葉山の現状を共有しあおう 【赤間】 ・つながりの大事さを共有しよう
赤間西	あかにこの輪	【地区】10/31、2/20 【アーサー赤間駅前・アンピール赤間駅】12/18	【地区】 ・地域で広げる安心の輪 【アーサー赤間駅前・アンピール赤間駅前】 ・マンションの現状と今後の展開について
自由ヶ丘	おかりん家族	【地区】6/4 【青葉台1・2丁目】6/20 【自由ヶ丘1区会】7/28 【自由ヶ丘南2区会】9/20 【自由ヶ丘南1区会】12/10	【地区】 ・区会単位で地域の特性に合った支え合いを考えよう！ 【青葉台1・2丁目】 ・通いの場や居場所づくりについて話しましょう 【自由ヶ丘1区会】 ・ちょっとした生活支援の必要性を考え、話しましょう！ 【自由ヶ丘南2区会】 ・通いの場や居場所づくりについて話しましょう 【自由ヶ丘南1区会】 ・ちょっとした生活支援の必要性を考え、話しましょう！

河東	かとうの星	【地区】 7/31、1/29 【稲元】 7/11 【本村】 8/26 【福崎】 10/29	【地区】 ・地域でのつながりづくりについて話しましょう ・声かけや気かけ合いの実例を交え、大切さについて改めて考えよう 【稲元】 ・稲元の今後について話しましょう！！ 【本村】 ・認知症を理解して自分たちに出来ることを考えよう 【福崎】 ・福崎の今後について話しましょう
南郷	南 GO!このみ隊	【地区】 5/30、10/24 【大穂町】 10/8 【曲】 11/18 【朝野】 12/17、2/18	【地区】 ・通いの場と介護予防 ・楽しみながら介護予防 【大穂町】 ・90 歳になっても集まれる通いの場 【曲】 ・曲でもおしゃべり会を始めよう 【朝野】 ・これからの朝野について話そう ・朝野の地域課題について
東郷	やよい東郷	【地区】 4/23、7/30、1/28 【平井】 5/23 【和歌美台】 11/1、12/6	【地区】 ・地域でのつながりについて話しましょう ・地域でのつながりと介護予防 ・これからも元気に過ごすには 【平井】 ・平井でも健康づくり運動教室を始めよう 【和歌美台】 ・和歌美台での通いの場 ・和歌美台での活動内容について話そう
日の里	いきいき日の里	【地区】 4/18、6/29、10/25 【日の里アパート3区】 4/18、8/1、12/12	【地区】 ・生活支援人材バンク(ちょこっとボランティア)について ・各自治会の現状、これからの展望について ・日の里地区生活支援ボランティア「ちょこっとボランティア」について 【日の里アパート3区】 ・お花見カフェの振り返り、新しい通いの場について考えよう ・第1回なごみの会開催に向けて ・なごみの会、これからのアパート3区について
玄海	玄海しゃべり Bar	【地区】 4/23、2/14 【神湊】 6/5、11/29 【江口】 10/22	【地区】 ・これからの協議体の方向性について話しましょう！ ・通いの場のプレゼン大会 【神湊】 ・通いの場や居場所づくりについて話しましょう！ ・“麻雀へのお誘い”について話しましょう！ 【江口】 ・通いの場や居場所づくりについて話しましょう！
池野	池野わくわく茶屋	【地区】 7/30、10/25、11/26、2/25	・池野地区について語り合おう！ ・フレイル予防と通いの場について ・池野地区について情報共有しよう ・池野地区について教えてください！

岬	鐘崎ノーサ BAR	【地区】9/18 【京泊東】5/22、2/10	【地区】 ・通いの場と介護予防について 【京泊東】 ・公民館を活用した通いの場について考えよう
大島	しまみん	【地区】5/27、7/29、 11/12、1/13	・島内の情報共有と今後の展開 ・大島地区の現状とこれからについて ・大島の今後について話し合おう！

(2) 地域資源の把握と創出

- ・「地域のお宝探してます」パンフレット等を活用し、住民等から地域資源の情報収集を行うとともに、直接地域の取材に行き地域資源の把握を行った。また、把握した地域資源をまとめ、地域包括支援センター等へ情報提供を行った。

(3) 地域ケア会議への参加

- ・各地域包括支援センターにおける地域ケア会議に出席し、地域資源などの情報提供を行った。

(4) 宗像市との連携

- ・委託元の宗像市（高齢者支援課）と連携し、圏域別連携会議、連絡調整会議及び宗像市との定例会議を開催し情報共有を行った。

（２）重層的支援体制整備事業（市委託事業）

■事業説明

令和 6 年 12 月に宗像市より事業の委託を受け、宗像市の福祉政策課内に相談支援コーディネーターを配置。単独の窓口では解決が困難な複雑化・複合化した課題を抱えた対象者及び世帯について課題解決に向けた体制を構築し、円滑な支援を行うことを目的として実施するもの。

■事業内容：

■職員体制：相談支援コーディネーター1 人

■業務内容：

(1) 多機関協働事業

- ・各相談支援機関等から寄せられた複雑化・複合化した課題を抱えた対象者及び世帯の事例を受け付け、事前にアセスメントを行い、課題の整理を行った。

(2) 各種会議の開催

- ・支援調整会議（※1）については、事前準備として、相談記録票の作成や課題の整理・確認を行った。また、当日はケース検討に係る司会進行等を行い、会議後は会議録の作成を行った。
- ・地区別相談員交流会については、複雑化・複合化したケースの増加を背景に福祉 4 分野（高齢・障がい・子ども・困窮）及び社協の相談員同士が気軽に相談できる関係づくりを目的とし実施した。

(3) 市担当課との連携・協働事業の検討及び推進

- ・本会の強みである地域福祉の視点を活かした取り組み（アウトリーチ事業・地域づくり事業・参加支援事業）について市担当課と協議・検討を行った。

	項目	総計	内容・備考
1	新規相談受付件数	19	ケース番号 2025-001/2025-002 2025-003/2025-004 2025-005/2025-個①～⑮
2	支援調整会議にて情報共有されたケース	25	ケース番号 2024-006/2024-009 2024-010/2024-011 2025-001/2025-002 2025-003/2025-004 2025-005

3	支援調整会議開催日数	9	毎月第4木曜日 14:00～16:00
4	支援会議開催日数	2	ケース番号 2024-009
5	プラン作成件数	1	ケース番号 2024-009
内 訳	新規作成	1	
	再プラン	0	
6	相談終結件数	1	
7	ケース対応	225	
内 訳	打ち合わせ・ケース会議 (関係者主催)	136	障害者福祉係、高齢者支援課、 健康課、生活支援課、収納課、 子ども家庭センター、県ひきこもり 地域包括、国保医療課、 障害者生活支援センター、社協
	訪問	19	本人、家族との面談など
	電話	70	本人、家族、子ども家庭センター、 収納課、社協、環境課、健康課、 保健所、地域包括
	その他	1	本人へのアプローチのための支援 計画書作成
8	事務局内協議	35	ケース会議、打ち合わせなど
9	その他	97	相談支援チーム会議、地域づくり・ 参加支援検討チーム会議など

※1…多機関協働事業にて受け付けされたケースについて、情報共有や支援の在り方・方向性を検討する会議。

(3) 福祉会組織化・育成事業

①福祉会組織化・育成事業

■福祉会とは

福祉会は、自分の住んでいる地域を住民の手で（＝参画・協働）誰もが生活しやすいように（＝共生社会）活動を行う（＝福祉力を高める）住民の自主的な組織であり、自治会単位（小地域）の福祉会を「小地域福祉会」、13 地区コミュニティ単位の福祉会を「地区福祉会」と称している。

■福祉会組織化の経緯

福祉会は、宗像市社会福祉協議会基盤強化計画書（昭和 61 年 1 月策定）にて、“活動のための組織体制強化策”として始めた事業。昭和 62 年に「小地域福祉会組織化事業」が開始され、昭和 63 年 4 月に自由ヶ丘地区に本市で最初の福祉会「自由ヶ丘地区社会福祉会（現：自由ヶ丘地区福祉会）」が発足した。その後、各地域で福祉会が組織化された。平成 10 年 7 月 10 日に赤間西地区福祉会が発足し、旧宗像市においては市内 8 地区全域に福祉会が組織化された。平成 15 年 4 月 1 日に玄海町と宗像市が合併、これに伴い両社会福祉協議会も平成 15 年 3 月 31 日に合併、新たな福祉会の組織化が平成 15 年度に再開した。平成 15 年 9 月 21 日に神湊地区福祉会が発会、平成 16 年 1 月 25 日の田島地区福祉会の発会をもって、旧玄海町 4 地区（市内 12 地区）全域に地区福祉会が組織化された。平成 17 年 3 月 31 日には、本会が大島村社会福祉協議会と合併したのを機に、大島村福祉会（現：大島地区福祉会）が宗像市 13 番目の地区福祉会となった。

■各福祉会の取り組み

※【 】は地区福祉会

地 区	福祉会名	主な活動内容
吉武地区	吉武地区福祉会	見守りネットワーク活動「孝行ネットボトル」利用推進、介護予防いきいき交流会「よしたけ広場」(1 回)、バスハイク、よしたけ福祉の郷づくりイベント参画(2 回)、世代間交流、「しんたて」に広報掲載、役員会議(9 回)
赤間地区	赤間地区福祉会	役員会6回、定例会(6回)、包括研修、いいとこ発見発表会、世代間交流コンサート
	赤間区福祉会	福祉会花壇作業(10回)、介護予防いきいき交流会事業(11回)、敬老祝賀記念品配付
	石丸区福祉会	介護予防いきいき交流会(2回)、世代間交流事業さつまいも収穫祭、どんど焼き、役員会(11回)、遊ぼう会
	徳重区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(5回:バスハイク、グラウンドゴルフ、ニュースポーツ等)、道路クリーン活動、世代間交流事業(どんど焼き)、70歳以上世帯お餅配布。
	田久区福祉会	介護予防いきいき交流会(5回)、おしゃべり会(4回)、バスハイク
	陵厳寺区福祉会	陵厳寺いきいきサロン(フリーサロンとして9回:ウォーキング、茶話会、ゲーム等)、広報誌「きぬがさ」発行(年6回)
	三郎丸団地区福祉会	介護予防いきいき交流会(4回)、敬老の日記念品贈呈、ラジオ体操
	広陵台1丁目福祉会	介護予防いきいき交流会(24回)、ラジオ体操、子ども登校見守り事業、元気アップ運動教室、道路クリーン事業、
	葉山区福祉会	活動休止中
	名残区福祉会	介護予防いきいき交流会(2回)
	富地原区福祉会	環境保全活動(清掃)(愛宕神社4回、県道6回)
赤間西地区	赤間西地区福祉会	見守りネットワーク活動の推進、各地域に合った通いの場・居場所づくりの推進及び活動地域の充実化、シルバー農園支援、地域ボランティア事業の継続とボランティア活動の推進、ステップアップ研修会、「きらめき赤間西」に広報掲載、サロン調整会議(福祉会長会)、赤間西小学校の福祉教育への協力支援
	土穴区福祉会	高齢者訪問活動(1回/月)、訪問活動報告会(奇数月)、玄米ニギニギ体操(月/2回)、乙女の会(9 回/年)、介護予防いきいき交流会事業(9回/年)、刃物研ぎ(3 回/年)、福祉会バスハイク(1 回/年)
	城ヶ谷区福祉会	見守り声かけ助け合い活動、介護予防いきいき交流会事業(5 回/年)、地域ボランティア活動(小学校登下校防犯パトロール、見守りネットワーク活動)、定例会・研修会の実施、世代間交流(子ども会との連携、赤間西小学校の福祉教育への協力)
	赤間ヶ丘1区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(7 回:親睦会、スマホのお困りごと茶話会、七夕まつり、敬老祝賀会、秋のふれあいフェスタ、クリスマス会、県呼応寿命講話と健康体操)、公民館開放(2 回/月)
	赤間ヶ丘2区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(6回:老GO!!のおすすめ(3回)、七夕まつり、防災教室、食事会と風船バレー)、地域ボランティアの推進(子ども見守り声かけあいさつ運動、刃物研ぎ(2 回/年)、分別収集の手伝い)
	三郎丸福祉会	介護予防いきいき交流会事業(4回:お宮・お堂を守る会、ニギニギ体操など:6 回)、刃物研ぎ(3 回/年)、子どもたちとの触れ合い活動、登校時の声かけ(2回/月:99 人)、下校時見守り(随時/88 人)、講演会・研修会への参加
	城山区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(10 回)、下校時子ども見守り活動、登校時見守り活動、刃物研ぎ(4 回/年、延べ 57 本)

	大谷区福祉会	介護予防いきいき交流会事業（5回：フレイル予防教室、秋のお楽しみ会、ニュースポーツ、健康レクササイズ）、自治会・福祉会役員会、夏のラジオ体操（7月）、縁側カフェ
	泉ヶ丘1丁目福祉会	介護予防いきいき交流会（6回：ケアビクス、ニュースポーツ、敬老祝賀会、口腔ケア、演奏会等）、敬老祝賀会記念品贈呈
	泉ヶ丘2丁目福祉会	介護予防いきいき交流会事業（4回：認知症に関する講話、ビンゴゲーム大会、敬老祝賀行事、栄養講話と食進会による試食会）、新年どんどこ焼き、にこにこカフェの開催（6回/年）、福祉ボランティアの会活動、福祉ボランティアの会世話人会議・協力者を含めた全体会議の開催、広報活動、「にこにこ朝市」の開催（1回/月）
	アーサー赤間駅前福祉会	七夕飾り（7月）、介護予防いきいき交流会事業（1回：敬老祝賀会・口腔ケア講話）クリスマスツリー飾りつけ（12月）
	アンピール赤間駅前福祉会	七夕飾り（7月）、敬老祝賀会（9月）、介護予防いきいき交流会事業（11月）、クリスマスツリー飾り（12月）
自由ヶ丘地区	自由ヶ丘地区福祉会	福祉委員による見守りネットワーク活動（65歳以上独居者・80歳以上の高齢者・その他対象者）、介護予防いきいき交流会事業（11か所/41回）、小地域福祉会の組織化の推進、見守り活動用配布紙「お元気ですか」や地区福祉だより「ほほえみあい」の内容の充実、福祉情報連絡会の開催（区会単位で年6～12回開催）、コミュニティ関係団体との連携強化
河東地区	河東地区福祉会	情報交流会、役員会、先進地研修、3地区福祉会交流会、出前講座
	須恵区福祉会	介護予防いきいき交流会事業（5回）見守り訪問活動、3者ミーティング（民生委員・福祉会・あじさいの会）
	福崎区福祉会	※新型コロナウイルス感染予防のため未実施
	ひかりヶ丘福祉会	フリーサロン、介護予防いきいき交流会事業（5回）、午後のお茶会、見守り訪問活動、生活支援隊活動、声かけ安全パトロール、世代間交流事業、福祉だよりの発行
	城西ヶ丘区福祉会	お散歩体操、いこい食堂、介護予防いきいき交流会事業（4回）、城西ヶ丘見守りネットワークむすび愛への協力、ボランティア研修
	天平台区福祉会	ふれあいカフェ（8回）、介護予防いきいき交流会事業（8回）、福祉だよりの発行
	樟陽台区福祉会	介護予防いきいき交流会事業（4回）、環境美化事業、おしゃべりサロン
南郷地区	南郷地区福祉会	役員会、福祉協力員研修、役員・民生委員児童委員・福祉協力員3者合同研修会、七夕まつり（南郷小3年生との交流会）、ふれあい福祉講座、オレンジカフェ、南郷小4年生学習支援（アイマスク体験）、バスハイク、福祉講演会（認知症サポーター養成講座）、わくわく交流会、介護予防いきいき交流会事業（10か所/61回）
東郷地区	東郷地区福祉会	役員会、福祉委員会、福祉委員研修会、民生委員児童委員との意見交換会、福祉会だよりの発行、介護予防いきいき交流会事業（10か所/46回）
日の里地区	日の里地区福祉会	福祉員のための福祉講座、自治会長・民生委員児童委員・主任福祉員の情報交換会（いきいき日の里）、向こう3軒両隣ネットの推進、ふれあい昼食会、四役会・運営委員会、主任福祉員会議、おもちゃ病院、シルバー農園、日の里学園福祉教育への協力、福祉員の集い、介護予防いきいき交流会事業（9か所/44回）

神湊地区	神湊地区福祉会	花いっぱい見守り訪問活動、介護予防いきいき交流会事業(2か所、計15回)
池野地区	池野地区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(7回)、居場所づくり「わくわく茶屋」6か所、テニピン
岬地区	岬地区福祉会	いきいきふれあいサロン(2回)、いきいきラジオ体操(年2回)、運営委員会、視察研修、おでかけサロン(2回)
田島地区	田島地区福祉会	70歳以上一人暮らし見守り訪問活動、地域助成事業、介護予防いきいき交流会事業(2か所 計7回)
大島地区	大島地区福祉会	各区おしゃべり会

②地域ネットワーク活動の充実（各福祉会の取り組み参照）

- 事業説明：小地域（見守り）ネットワーク活動とは、民生委員児童委員、福祉会の福祉委員・福祉員・福祉協力員等の地域ケア型ボランティア、シニアクラブ、地域の事業所が連携・協力して、単身高齢者世帯等への定期的な見守り・訪問活動・できる範囲での生活援助活動などを行う取り組み。

（４）介護予防いきいき交流会事業の実施と事業の充実（市委託事業）

①介護予防いきいき交流会事業

- 事業説明：高齢者の閉じこもり予防や日常の健康を維持することを目的とした「いきいきふれあいサロン活動」を活用し、介護予防の内容を充実させた事業を行っている。
なお、介護予防いきいき交流会事業には、「地島ミニデイサービス」と「おおしまDEいきいき元気教室」も含まれる。
- 事業内容：●各区、町内会で行われている高齢者等を対象にしたサロン活動において、血圧、体脂肪等の測定及び簡単な健康相談などの健康チェックを実施。
●介護予防メニューとして、口腔ケア、栄養指導、運動指導を実施。
- 運営体制：市からの委託事業。各福祉会が実施し、本会は支援、連絡調整などを行っている。

地区ごとの 実施状況	開催箇所 (単位:ヶ所)	開催回数 (単位:回)	栄養指導 (単位:回)	口腔ケア (単位:回)	運動指導 (単位:回)
吉 武 地 区	3	14	0	1	1
赤 間 地 区	7	53	6	4	9
赤 間 西 地 区	11	55	4	4	8
自由ヶ丘地区	9	41	2	0	5
南 郷 地 区	10	73	5	3	9
河 東 地 区	8	40	1	4	3
東 郷 地 区	10	46	1	2	11
日 の 里 地 区	10	44	0	1	5
池 野 地 区	1	7	2	0	2
田 島 地 区	2	7	0	1	2
神 湊 地 区	2	15	1	2	4
岬 地 区	1	2	0	0	2
大 島 地 区	3	3	0	0	0
合 計	77	400	22	22	61

- 事業実績：●延べ参加者数：7,074人（65歳以上 6,394人、64歳以下 680人）
●延べ従事者数：3,106人
●合 計：10,180人

②介護予防いきいき交流会事業推進協力者研修の実施

■事業説明：いきいきふれあいサロン活動の内容の充実と活動に関わる人材育成を目的に、研修会を開催。

■事業内容：・日時：令和7年6月20日(金)10:00～11:30
 ・会場：メイトム宗像 多目的ホール
 ・講演：テーマ『地域で集い、つながるサロン活動とは・・・』
 九州大谷短期大学 教授 中村 秀一氏
 ・事例発表
 田久区 『サロン、おしゃべり会』
 ひかりヶ丘区『フリーサロン、午後のお茶会』

参加者数	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	158人	157人	167人

③地島ミニデイサービス事業の適切な運営

■事業説明：離島の高齢者の健康増進と介護予防を目的とした事業。毎回、健康チェックを実施している。

■実施場所：地島白浜公民館及び泊公民館

実施時期	参加者数	主な活動内容
9月24日	(白浜) 7人 (泊) 4人	健康チェック、言語聴覚士による健口体操、タオル体操
10月22日	(白浜) 7人 (泊) 6人	健康チェック、言語聴覚士による健口体操、タオル体操
11月19日	(白浜) 7人 (泊) 7人	健康チェック、管理栄養士による栄養指導、タオル体操

④大島 DE いきいき元気教室の適切な運営

■事業説明：離島の高齢者の健康増進と介護予防を目的とした事業。毎回、健康チェックを実施している。

■実施場所：大島地区コミュニティセンター、大島ふれ愛センター(3月)

実施時期	参加者数	主な活動内容
4月9日	11人	健康チェック、体力測定、フレイル予防について講話、栄養改善指導について講話、タオル体操
5月14日	10人	健康チェック、体力測定、脳トレ、タオル体操
6月11日	14人	健康チェック、体力測定、骨粗鬆症について、タオル体操
7月9日	12人	健康チェック、体力測定、夏バテについて講話、脳について講話、脳トレーニング、タオル体操
8月20日	0人	よつづかコロナ蔓延につき休止
9月10日	10人	健康チェック、体力測定、レクリエーション、タオル体操
10月8日	12人	健康チェック、体力測定、お通じについての講話とマッサージの実施、看取りについての講話、タオル体操
11月12日	10人	健康チェック、体力測定、握力と転倒予防についての講話、脳トレ、タオル体操
12月10日	10人	健康チェック、体力測定、ヒートショックについての講話、姿勢についての講話、タオル体操
1月21日	10人	健康チェック、体力測定、レクリエーション、脳トレ、タオル体操
2月18日	11人	健康チェック、体力測定、スキンテアについての講話、タオル体操

3月11日	5人	健康チェック、失禁についての講話、レクリエーション、大島体操、タオル体操
-------	----	--------------------------------------

(5) 地区福祉会連絡協議会の活動状況

■事業説明：福祉会相互の情報交換、交流、研修等を通じ、それぞれの地域における福祉会活動を促進するとともに、市民参画型の地域福祉活動の充実を図ることを目的に平成9年に設置。13地区福祉会の代表者2名（会長、事務局長等）が協議会の理事となり、全26名で構成。

実施事業	実施時期	主な活動内容
理事会(総会)	■6月2日 ■メイトム宗像 202会議室	①令和6年度事業報告・決算報告及び監査報告について ②令和7年度事業計画・予算について
研修会	■10月27日 ■メイトム宗像 202会議室	テーマ：『宗像市がこれから取り組んでいく 「重層的支援体制整備事業」について』 講師：宗像市役所 福祉政策課 保健福祉政策係 係長 堤 俊介 氏 宗像市社会福祉協議会 重層担当 岡嶋 和 ※研修会終了後、別会場にて懇親会を行った
情報交換会	■2月9日 ■メイトム宗像 202会議室	テーマ：『地区福祉会の取り組みについて (グループワーク)』

(6) 宗像市民生委員児童委員協議会と連携・支援

■事業説明：宗像市民生委員児童委員協議会と連携・協働し、小地域ネットワーク活動の推進、生活福祉資金の運営、歳末たすけあい募金など、様々な地域福祉活動に取り組んでいる。

■宗像市民生委員児童委員協議会への活動費補助金の交付

補助金交付額	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	299,000円	299,000円	299,000円

(7) 宗像市シニアクラブ連合会と連携・支援

■事業説明：宗像市シニアクラブ連合会と連携・協働し、小地域ネットワーク活動や介護予防いきいき交流会事業の推進、赤い羽根共同募金など、様々な地域福祉活動に取り組んでいる。

■宗像市シニアクラブ連合会への活動費補助金の交付

補助金交付額	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	512,000円	512,000円	512,000円

(8) ライフサポート事業等の実施

① ライフサポート事業（地域福祉権利擁護事業）

■事業説明：本会の独自事業として、高齢者、精神障がいのある人、知的障がいのある人などで判断能力が不十分な人の権利を擁護し、本人の意思に基づいて安心した生活を送ることができるよう支援する事業を平成25年8月から実施している。本事業利用の可否等を審査する「運営審議会」を奇数月（年6回）に開催している。
また、これまで県社会福祉協議会が実施主体であった「日常生活自立支援事業」の市町村実施方式への移行決定に伴い、令和元年10月から事業受託を開始。

■支援内容：①生活支援サービス…福祉サービス利用援助、定期訪問による見守り、郵便物の管理等
②生活費管理サービス…日常必要な預貯金の出し入れ等

③通帳等預かりサービス…預貯金通帳の保管や管理等

■職員体制：生活支援コーディネーター4人、市民生活支援員7人登録

■ライフサポート事業利用者数

【3月末現在の利用者数】

項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実 績	前年比較	実 績	前年比較	実 績	前年比較
高 齢 者	16人	－5人	14人	－2人	10人	－4人
知的障がい者	13人	－1人	15人	＋2人	12人	－3人
精神障がい者	14人	－3人	12人	－2人	12人	±0人
そ の 他	4人	±0人	4人	±0人	4人	±0人
合 計	47人	－9人	45人	－2人	38人	－7人

■ライフサポート事業利用内容

項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実 績	前年比較	実 績	前年比較	実 績	前年比較
生活支援サービス	47人	－9人	45人	－2人	38人	－7人
生活費管理サービス	47人	＋2人	45人	－2人	38人	－7人
通帳等預かりサービス	34人	－11人	37人	＋3人	33人	－4人

■日常生活自立支援事業利用者数（福岡県社会福祉協議会委託事業）【3月末現在の利用者数】

項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実 績	前年比較	実 績	前年比較	実 績	前年比較
高 齢 者	5人	－2人	4人	－1人	4人	±0人
知的障がい者	5人	＋2人	6人	＋1人	7人	＋1人
精神障がい者	11人	＋4人	13人	＋2人	12人	－1人
合 計	21人	＋4人	23人	＋2人	23人	±0人

■ライフサポート事業・日常生活自立支援事業/契約・利用者の推移

(単位：人)

	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	ライフ	自立	ライフ	自立	ライフ	自立	ライフ	自立	ライフ	自立	ライフ	自立
高齢認知	14	4	16	4	15	3	14	3	14	3	14	3
知的障がい	15	7	15	7	14	7	14	7	14	7	14	7
精神障がい	12	13	12	13	12	13	12	12	12	13	11	13
その他	4	0	4	0	4	0	4	0	5	0	5	0
小計	45	24	47	24	45	23	44	22	45	23	44	23
合 計	69		71		68		66		68		67	

	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	ライフ	自立	ライフ	自立	ライフ	自立	ライフ	自立	ライフ	自立	ライフ	自立
高齢認知	13	4	10	4	9	4	9	4	10	4	10	4
知的障がい	14	7	14	7	13	7	13	7	12	7	12	7
精神障がい	12	13	12	13	12	13	12	12	12	12	12	12
その他	5	0	5	0	5	0	5	0	4	0	4	0
小計	44	24	41	24	39	24	39	23	38	23	38	23
合計	68		65		63		62		61		61	

■ライフサポート事業・日常生活自立支援事業/相談援助件数

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認知高齢	200	142	208	236	183	115	141	147	168	100	112	94	1,846
知的障がい	222	194	211	266	237	231	273	209	228	221	246	245	2,783
精神障がい	203	222	278	279	182	212	301	152	167	262	167	207	2,632
その他	15	15	13	6	15	10	16	17	18	38	36	6	205
合 計	640	573	710	787	617	568	731	525	581	621	561	552	7,466

②運営審議会の開催

■審議委員：弁護士、宗像市（生活支援課生活保護係主任主事、福祉政策課障害者福祉係長、高齢者支援課地域包括ケア推進係社会福祉士）、精神保健福祉士（宗像病院相談員）計5人

■開催日程と主な内容

項目	実施時期	主な内容
令和7年度 第1回審議会	5月22日	内容：①審議 ②契約状況と現況報告・前審議会後の進捗状況 ▼審議案件：3件(新規：高齢3件)
令和7年度 第2回審議会	7月23日	内容：①審議 ②契約状況と現況報告・前審議会後の進捗状況 ▼審議案件：2件(新規：精神1件・その他1件)
令和7年度 第3回審議会	9月26日	内容：①審議 ②契約状況と現況報告・前審議会後の進捗状況 ▼審議案件：5件(新規：高齢者3件・精神2件)
令和7年度 第4回審議会	11月17日	内容：①審議 ②契約状況と現況報告・前審議会後の進捗状況 ▼審議案件：2件(新規：高齢1件・精神1件)
令和7年度 第5回審議会	1月29日	内容：①審議 ②契約状況と現況報告・前審議会後の進捗状況 ▼審議案件：2件(新規：高齢者2件)
令和7年度 第6回審議会	3月24日	内容：①審議 ②契約状況と現況報告・前審議会後の進捗状況 ▼審議案件：3件(新規：知的1件・精神2件)

③その他の活動

項 目	開催日	主な内容
ケース会議	月1回 (計12回)	内 容：個別ケースの支援内容の検証と情報共有のための会議を毎月行った。
生活支援員の つどい	10月30日	目 的：ライフサポート事業・日常生活自立支援事業担当者を対象に、支援知識の習得及び支援技術の向上を目的に生活支援員同士の交流を図る意見交換会を開催 内 容：「こんなトラブルに気をつけて」 宗像市消費者センター 消費生活相談員 園田安代氏 場 所：メイトム宗像 202会議室 参加者：市民生活支援員7人 生活支援コーディネーター等 計13人

④参加した研修

研修名	受講日	主な内容
令和7年度生活困窮者支援セミナー	5月12日	【オンデマンド研修】 「発達障害・知的障害のある方への生活困窮者支援」 ～多様なニーズへの理解と支援の連携を考える～
令和7年度第1回生活福祉資金事務説明会	5月26日	「生活福祉資金貸付業務」、「生活福祉資金償還業務」、「特例貸付フォローアップ支援」
令和7年度日常生活自立支援事業 専門員研修Ⅰ	7月9日	「日常生活自立支援事業とキャッシュレス化への対応」、「キャッシュレス決済サービス KAERU を活用した金銭管理」、「活用事例報告」、意見交換会
令和7年度成年後見制度利用促進研修会	9月9日	【Web 研修】 「県内市町村の取組と県の支援について」、「成年後見人候補者の受任調整について」・実践報告
令和7年度アルコール問題に関する研修会	9月18日	「アルコール問題を抱える方とその家族への支援について」、「家族による体験談」
令和7年度第2回生活福祉資金事務説明会及び担当職員研修会	9月24日	「生活福祉資金教育支援金における貸付業務」、「特例貸付にかかるフォローアップ支援について」、「教育現場における配慮が必要な世帯への支援」、「職員のバーンアウトを防ぐメンタルヘルス」
令和7年度成年後見制度利用促進実践研修会	9月25日	「成年後見人等が直面し得る法律にまつわること」
令和7年度福岡県日常生活自立支援事業生活支援員研修会（初任者編）	11月13日	援助場面におけるコミュニケーション
令和7年度日常生活自立支援事業 専門員実践力強化研修会	10月下旬～12月	【オンデマンド・Web 研修】 講義及び事例検討にて専門員の役割・支援の流れなどを実践報告～学びを深める
社会福祉士実習指導者講習会	12月2日 12月3日	実習生受入のために組織として準備しておくべきもの・受入体制、実習計画作成法、実習スーパービジョン方法の学習
持続可能な権利擁護支援モデル事業 第3回連絡会	12月19日	【Web 研修】 「持続可能な権利擁護支援モデル事業」、「身寄りのない高齢者等が抱える生活上の課題に対応するためのモデル事業」を実施する市町村及び市町村社協の取組実践報告
令和7年度成年後見制度における市町村長申立研修会	1月8日	【Web 研修】 成年後見制度における市長申立
令和7年度成年後見制度後見人等への意思決定支援研修会	1月22日	【Web 研修】 「意思決定支援をふまえた後見事務のガイドライン」、「権利擁護支援としての意思決定支援」、「意思決定支援の基本的考え方」、「フォロワー活動からみたコミュニケーションを広げる・深める」

令和7年度日常生活自立支援事業 専門員研修会Ⅱ	2月18日	【Web 研修】 「日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行支援」
令和7年度 法人後見実施団体連絡会	3月4日	「統一報告書式について」、「次回の報酬付与申立について」、「令和7年度法人後見実施連絡会活動報告」、「法人後見の実務と組織的対応」

(9) 法人後見事業の実施

■事業説明：ライフサポート事業及び日常生活自立支援事業の利用者でライフサポート事業及び日常生活自立支援事業では対応が困難な人の判断能力を補うため、本会が成年後見人、保佐人、補助人となることにより、成年被後見人、被保佐人、被補助人の財産管理及び身上監護を行い、その権利を擁護することを目的として、令和3年1月から法人後見事業を開始している。

①受任者：4件（後見1件・保佐2件・補助1件）

今年度1件後見終了(補助)し、新たに1件後見開始(後見)した

②運営委員会の開催

■審議委員：弁護士、司法書士、宗像市（生活支援課生活保護係係長、福祉政策課障害者福祉係係長、高齢者支援課地域包括ケア推進係社会福祉士）、精神科医師、他市社会福祉協議会（社会福祉士） 計7人

■開催日程と主な内容

項目	実施時期	主な内容
令和7年度 第1回委員会	7月10日	▼審議：ライフサポート利用者の後見申立と当会が後見人候補者となり得るか ▼報告：被補助人の後見終了(高齢1件)
令和7年度 第2回委員会	2月16日	▼審議：受任中の被補助人の類型変更申立（1件） ▼報告：新たに受任した被後見人の経過報告 継続して受任中の被保佐人の経過報告(2件)

(10) 心配ごと相談所設置事業

■事業説明：心配ごと相談所への相談内容は、複雑化・多様化している。そのため、他の相談機関とも連携を図っている。主に、法律、財産、離婚、家族関係等の相談が多くを占めている。相談員は3人で、相談は個別（個室）面接方式で行っている。

■相談日：①毎月第1・2・4木曜日・場所：市役所1階

②偶数月第3木曜・場所：日の里コミセン

③奇数月第3木曜・場所：自由ヶ丘コミセン

■相談員：3人 ■相談件数合計：331件 ■利用者数：76人

■相談件数及び相談内容

内 容		人 権 法 律	財 産	家 族 関 係	離 婚 結 婚	生 計 年 金	住 宅	事 故	健 康 医 療	職 業 生 業	苦 情	福 祉 関 係	そ の 他	合 計
件 数	令和5年度	78	70	73	20	61	40	16	33	15	7	61	25	499
	令和6年度	64	63	72	21	75	41	6	37	0	4	60	13	456
	令和7年度	55	46	37	5	52	29	14	24	6	5	35	23	331

(11) 災害ボランティア活動における協力・連携

■事業説明：宗像市と宗像市社会福祉協議会との間で締結している「災害時におけるボランティア活動に関する協定書」に基づき、災害が発生し、宗像市からの災害ボランティアセンターの設置要請を受け、そのボランティア活動に関わる一連の運営・管理を行う。また、設置・運営に向けた必要な取り組みを実施する。

『宗像市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル』を策定（令和2年度）
また、福岡県社協からの要請等により、他自治体災害被災地に職員を派遣する。

■関係機関と協力・連携を行うための会議への参加（市危機管理課主催）

迅速な災害対応に繋げるとともに、有事の際の協力体制を構築するための情報共有を行った。
参加団体・機関等：市危機管理課、市コミュニティ協働推進課、県社協、トヨタ自動車九州株式会社、日本赤十字九州国際看護大学、青年会議所

■災害復旧ボランティアの派遣活動

令和7年8月の豪雨で被害を受けた被災者に対し、復旧への災害ボランティア活動の支援を市と社協で協議決定。災害ボランティアセンター設置を検討したが、被災状況の規模から既存のボランティアシステム（MVS）を活用することとし、市と社協の協働による運用で実施した。社協は、ボランティアに関すること（募集、受付、資材貸出、送迎、活動報告）、市は、依頼者に関すること（ニーズ調査、実施日の調整、終了判断）で役割分担を行った。実稼働日数は24日、現場件数は18件（延べ41件）、協力ボランティアは延べ346人。

■災害ボランティアセンター資機材の活用

福岡県共同募金会の配分金による3市社協（宗像市、古賀市、福津市）合同で設置した資機材倉庫の資機材について、令和7年8月に豪雨災害で被害を受けた被災者への復旧支援ボランティア活動において、3市社協ともそれぞれ被害現場で活用することができた。

(12) 宗像市遺族連合会活動への助成

■事業説明：宗像市遺族連合会へ活動費補助金の交付を行っている。

■宗像市遺族連合会へ活動費補助金の交付。

補助金交付額	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1,099,000円	1,099,000円	1,099,000円

(13) 社協出前講座の実施

■事業説明：地域における住民主体の地域課題解決・包括的な支援体制の第一の取り組みとして、自治会など小地域を対象に出前講座を平成29年4月から開始した。
出前講座の内容は、地域課題や福祉課題解決に向けた「赤い羽根共同募金って何？」「社協ってなに？どんなところ？」「見守りネットワーク入門」「福祉座談会」など12項目。「ルックルック講座」や生活支援体制整備事業の取り組み、「いきいきふれあいサロンメニュー」などで実施しています。

4 広報公聴活動の推進

(1) 社協だよりの発行

■事業説明：市広報紙「タウンプレスむなかた」を利用して、年6回（偶数月）発行。

市民に向けて、地域福祉活動及び本会活動等についての情報提供を行っている。

実施時期	記事の内容
■第217号 4月1日発行 (1.5頁)	「南GO！このみ隊」を開催しています！、「広がっています。新しい認知症観！！」、令和6年度ステップアップ研修会を開催しました、認知症サポーター養成講座開催のお知らせ、令和7年度ボランティア活動保険加入受付中、令和7年度手話講習会受講者募集、在宅介護者一日リフレッシュセミナー参加者募集、地域福祉文庫講演会のご案内（参加者募集） 他

■第 218 号 6 月 1 日発行 (1.5 頁)	令和 7 年度宗像市社会福祉協議会事業計画・予算、いきいきふれあいサロン研修会開催のお知らせ、認知症サポーター養成講座開催のお知らせ、第 1 回ピアサポート事業参加者「ゆったり茶話会」参加者募集のお知らせ 他
■第 219 号 8 月 1 日発行 (1.5 頁)	令和 7 年度決算報告、日の里中学校の居場所「SPREAD」、認知症サポーター養成講座開催のお知らせ、おもちゃ図書館お盆休みのお知らせ、市民後見人養成研修会参加者募集 他
■第 220 号 10 月 1 日発行 (2 頁)	赤い羽根共同募金協力のお願い（たすけあいの心、前年度実績額、使いみち、目標額、目安額、支えられている募金、災害等準備金積立）、共同募金配分団体紹介（東郷地区福祉会）、認知症サポーター養成講座開催のお知らせ、第 2 回ピアサポート事業「ゆったり茶話会」参加者募集のお知らせ、地域福祉文庫連絡協議会お話し会のご案内 他
■第 221 号 12 月 1 日発行 (1.5 頁)	歳末たすけあい募金がはじまりました、福祉絵画コンクールと福祉教育読本「ともに生きる」感想文、第 3 回ピアサポート事業「ゆったり茶話会」参加者募集のお知らせ、広陵台 1 丁目シニアスマホな会 in 宗像を紹介し、おもちゃ図書館休館日のお知らせ 他
■第 222 号 2 月 1 日発行 (2 頁)	歳末たすけあい募金寄付謝礼（岡垣第一幼稚園、寄付者名簿）、日の里まつり実行委員会高圧洗浄機寄贈、「出張おもやいカフェ in 玄海」開催のお知らせ、災害ボランティア寄贈ありがとうございます、笑顔いっぱいオレンジカフェ in 南郷、「寄付ありがとうございました。」くりえいと宗像 25 周年感謝祭 他

（２）本会ホームページの管理・運営

①ホームページの管理・運営

■事業説明：インターネットの活用による市内外の人へ随時情報を提供するとともに、「社協だより」、本会の各種計画、地区福祉会の地域福祉活動計画等のデータベース化を行っている。

■実施内容：本会ホームページの適切な管理・運営に努めた。「バナー」広告に関しては、随時募集を行った。令和 3 年度には、ホームページのリニューアル作業を実施し、スマートフォンでの閲覧の利便性を図った。

アクセス ログイン数	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
	43,665 件	48,354 件	60,015 件

5 高齢者福祉事業の推進

（１）宗像市在宅介護者支援事業（市委託事業）

■事業説明：在宅で家族の介護をしている介護者を対象に、より良い介護が継続できるよう介護に関する研修とリフレッシュ事業（介護者交流会）を実施するもの。

実施事業	実施時期	主な活動内容
在宅介護者応援セミナー	2 月 17 日(火)	テーマ:今を楽しくいきている ～つらい時期を乗り越えて～ 講師: 小川久美子さん 会場: メイトム宗像 202 会議室 人数: 36 人
一泊リフレッシュセミナー	10 月 27 日(月) ～28 日(火)	行先: 大分県宇佐市・別府市 人数: 10 人(男性 2・女性 8)
一日リフレッシュセミナー	6 月 13 日(金)	行先: 福岡県福岡市(福岡タワー・宮崎宮等) 人数: 23 人(随行者含む)

(2) 在宅介護家族の会ひまわり活動助成支援

■事業説明：在宅で家族の介護をしている介護者で組織している「ひまわりの会」への活動支援及び資金支援などを行った。

■宗像市在宅介護家族の会“ひまわり”への活動費補助金の交付

補助金交付額	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	155,000 円	155,000 円	155,000 円

(3) 宗像市シニアクラブ連合会と連携・支援（再掲）

※3 “ともにいきるまち宗像”推進事業の充実 (7) 宗像市シニアクラブ連合会と連携・支援を参照 (P16)。

(4) 鍼灸治療費補助事業

■事業説明：高齢者の健康維持のため、社会保険加入者を対象に鍼灸治療費の一部を補助。平成20年度から、後期高齢者医療被保険者についても市の委託事業として本会で一部補助を開始した。

■鍼・灸治療費の助成内容：一回につき500円、月5回まで

鍼灸延べ 利用件数	保険種別	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	社会保険被保険者	1,202 件	1,251 件	1,255 件
	後期高齢者医療被保険者	2,569 件	2,763 件	3,359 件

(5) 認知症サポーター養成講座事業及び認知症サポーター活動支援事業

1. 認知症サポーター養成事業

①認知症サポーター養成講座

■事業説明：平成25年度から宗像市より受託しているこの講座は、誰もが認知症について正しい知識を持ち、認知症の人やその家族の「尊厳ある暮らし」を守り、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指して実施している。現在、市内には1.5万人以上のサポーターが誕生している。

■実施方法：本会職員が講師役「キャラバン・メイト」養成講座を受講し、学んだ知識や体験などを踏まえ、地域、学校、職場などで養成講座を開催している。

■事業実績

項目／年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実施回数	11 回	20 回	23 回
受講者数	478 人	1,440 人	805 人

②認知症サポーターステップアップ研修会

■事業説明：この講座は、「認知症サポーター養成講座」を修了した人を主として、培った知識を深め、認知症の方やその家族を認知症サポーターや地域住民等が地域全体で支える仕組み作り（チームオレンジ）を推進するための講座である。

■事業実績

項目／年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実施回数	1 回	1 回	2 回
受講者数	41 人	31 人	70 人

開催日	場所	内容
令和7年7月29日(火) 13:30～15:30	メイトム宗像 202 会議室	前半 宗像市の取り組みとチームオレンジ活動について おもやいカフェ参加者とチームオレンジ活動について 後半 グループワーク
令和8年1月27日(火) 13:30～15:30	メイトム宗像 202 会議室	前半 本人ミーティング参加者によるトークセッション チームオレンジサポーターによる活動紹介 後半 グループワーク

③キャラバン・メイト養成

■事業説明：「キャラバン・メイト」とは、地域で暮らす認知症の人やその家族を温かく見守る応援者である「認知症サポーター」を養成する「認知症サポーター養成講座」の講師役である。本会職員が受講し5名で講師を務めた。

日程	場所	研修名	参加数
10月21日 (火)	福岡県介護実習・普及センター	令和7年度キャラバン・メイトフォローアップ養成研修	1人

2. 認知症サポーター活動支援事業

①認知症地域支援推進員活動

■事業説明：認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、宗像市では、本会、各日常生活圏域の地域包括支援センター、基幹型地域包括支援センターに配置されている。医療機関・介護サービス事業所・地域の支援機関間の連携を図るための支援及び認知症の人やその家族を支援する相談業務等を担っている。

■研修関係

	日程	場所	研修名
1	5月21日(水)	Zoom	宗像市認知症初期集中支援チーム員研修会
2	7月23日(水)	メイトム結工房	山中しのぶさん講演会～認知症とともに私らしく生きる～
3	10月14日(火)	Web研修	認知症施策推進計画策定に係る研修会
4	2月5日(木)	Web研修	R7年度福岡県認知症初期集中支援チーム及び認知症地域支援推進員ネットワーク研修
5	2月12日(木)	Web研修	宗像市BPSD研修会

■会議

(1) 認知症地域支援推進員会議

	日程	場所
1	4月21日(月)	宗像市役所 北103会議室
2	5月19日(月)	宗像市役所 北103会議室
3	6月16日(月)	宗像市役所 南201B会議室
4	7月28日(月)	宗像市役所 北202会議室
5	8月18日(月)	宗像市役所 北204会議室
6	9月22日(月)	宗像市役所 北204会議室
7	10月20日(月)	宗像市役所 南201A会議室
8	11月17日(月)	宗像市役所 北204会議室
9	12月15日(月)	宗像市役所 北204会議室
10	令和8年1月19日(月)	宗像市役所 南202会議室
11	2月16日(月)	宗像市役所 201A会議室
12	3月16日(月)	宗像市役所 南201A会議室

(2) 第2層地域支え合い推進員担当者的会議

	日程	場所
1	4月7日(月)	メイトム宗像 203会議室
2	5月8日(木)	メイトム宗像 203会議室
3	6月3日(火)	メイトム宗像 203会議室
4	7月7日(月)	メイトム宗像 203会議室
5	8月4日(月)	メイトム宗像 203会議室
6	9月1日(月)	メイトム宗像 203会議室

7	10月6日（月）	メイトム宗像 203 会議室
8	11月4日（火）	メイトム宗像 203 会議室
9	12月1日（月）	メイトム宗像 203 会議室
10	令和8年1月6日（火）	メイトム宗像 204 会議室
11	2月2日（月）	メイトム宗像 203 会議室
12	3月2日（月）	メイトム宗像 203 会議室

■その他

	日程	場所	内容
1	5月10日（土）	泉ヶ丘2丁目公民館	泉ヶ丘2丁目いきいきふれあいサロン認知症講話
2	6月10日（火）	南郷コミュニティセンター	南郷福祉会研修 認知症トークセッション
3	6月18日（水）	田久公民館	田久福祉会 認知症講話
4	7月18日（金）	日の里2丁目公民館	認知症トークセッション 参加
5	7月26日（土）	泉ヶ丘1丁目公民館	泉ヶ丘2丁目いきいきふれあいサロン認知症講話
6	9月19日（金）	南郷コミュニティセンター	南郷地区ふれあい福祉講座 認知症トークセッション
7	11月12日（水）	自由ヶ丘コミュニティセンター	認知症トークセッション
8	12月10日（水）	日の里中学校	認知症トークセッション

②-1 オレンジ（認知症）カフェ

■事業説明：オレンジ（認知症）カフェとは、認知症の人やその家族、地域住民など誰もが集うことのできる場所である。認知症になっても認知症の人や家族が安心して地域で生活できるように、人や地域との繋がりを結ぶことや認知症について正しい知識の普及啓発を目的に開催している。この活動を推進するために、宗像市内においてカフェを実施・運営する団体と個人に対し、その事業費の一部を助成している。

■実施方法：認知症に関する講話、レクリエーション、医療・介護・福祉分野の専門職による相談コーナーなどを設けている。

■相談協力団体：宗像市、宗像市内の地域包括支援センター

■開催回数及び参加者数：20回開催 延べ520人

	日程	場所	参加者数	実施団体	内容
1	5月25日（日） 10:00～12:00	城西ヶ丘公民館	74人	城西ヶ丘見守りネットワークむすび愛	・認知症講話（社協） ・音楽療法 ・ハンドマッサージ ・カフェタイム ・相談コーナー
2	6月12日（木） 13:30～15:30	日の里包括支援センター横交流スペース「ぼんて」	13人	宗像市社会福祉協議会	・カフェタイム ・相談コーナー
3	7月10日（木） 13:30～15:30	日の里包括支援センター横交流スペース「ぼんて」	12人	宗像市社会福祉協議会	・カフェタイム ・相談コーナー
4	8月14日（木） 13:30～15:30	日の里包括支援センター横交流スペース「ぼんて」	10人	宗像市社会福祉協議会	・カフェタイム ・囲碁、将棋、カラオケ ・相談コーナー
5	9月11日（木） 13:30～15:30	日の里包括支援センター横交流スペース	13人	宗像市社会福祉協議会	・カフェタイム ・囲碁、将棋、カラオケ

		「ぼんて」			折り紙 ・相談コーナー
6	9月24日(水) 10:00～12:00	宗寿園ケアスクール	33人	宗像市社会福祉協議会	・カフェタイム ・認知症講話(社協) ・地域情報提供(宗寿園) ・相談コーナー
7	9月30日(火) 13:30～15:30	自由ヶ丘コミセン	50人	自由ヶ丘第2区福祉会	・認知症講話(社協) ・オカリナ演奏 ・カフェタイム ・相談コーナー
8	10月9日(木) 13:30～15:30	日の里包括支援センター横交流スペース 「ぼんて」	10人	宗像市社会福祉協議会	・カフェタイム ・囲碁、将棋、カラオケ、折り紙 ・相談コーナー
9	10月26日(日) 10:00～12:00	南郷コミセン	29人	南郷福祉会	・認知症講話(社協) ・音楽療法 ・ハンドマッサージ ・カフェタイム ・相談コーナー
10	11月13日(木) 13:30～15:30	日の里包括支援センター横交流スペース 「ぼんて」	14人	宗像市社会福祉協議会	・カフェタイム ・囲碁、将棋、カラオケ、折り紙 ・相談コーナー
11	11月20日(木) 10:00～11:30	自由ヶ丘南1丁目公民館	19人	自由ヶ丘南第1区福祉会	・認知症講話(社協) ・音楽療法 ・ハンドマッサージ ・カフェタイム ・相談コーナー
12	11月23日(日) 10:00～12:00	城西ヶ丘公民館	78人	城西ヶ丘見守りネットワークむすび愛	・認知症講話(社協) ・音楽療法 ・演奏会 ・ハンドマッサージ ・カフェタイム ・相談コーナー
13	12月11日(木) 13:30～15:30	日の里包括支援センター横交流スペース 「ぼんて」	11人	宗像市社会福祉協議会	・カフェタイム ・囲碁、将棋、カラオケ、折り紙 ・相談コーナー
14	令和8年1月8日(木) 13:30～15:30	日の里包括支援センター横交流スペース 「ぼんて」	15人	宗像市社会福祉協議会	・認知症当事者動画視聴 ・カフェタイム ・囲碁、将棋、カラオケ、折り紙 ・相談コーナー
15	2月12日(木) 13:30～15:30	日の里包括支援センター横交流スペース 「ぼんて」	13人	宗像市社会福祉協議会	・認知症当事者動画視聴 ・カフェタイム ・囲碁、将棋、カラオケ ・相談コーナー
16	2月13日(金) 13:00～14:30	エフコープ2階会議室	27人	自由ヶ丘一区福祉会(西町)	・認知症講話(社協) ・オカリナ演奏 ・カフェタイム ・相談コーナー
17	2月15日(日)	宗像ユリックス展示	100人	宗像薬剤師	・薬についての講話(宗像)

	14:00～15:30	室		会	薬剤師会) ・カフェタイム ・相談コーナー
18	2月25日(水) 13:00～14:30	自由ヶ丘第三区公民館	37人	自由ヶ丘三区福祉会	・認知症講話(社協) ・カフェタイム ・エコバッグづくり ・ハンドマッサージ ・相談コーナー
19	2月26日(木) 10:00～12:00	海の道むなかた館	49人	宗像市社会福祉協議会	・カフェタイム ・認知症講話(社協) ・地域情報提供(柏芳会記念福祉事業、サンリブ移動スーパーとくし丸、玄海・池野・岬・大島地域包括支援センター) ・相談コーナー
20	3月12日(木) 13:30～15:00	日の里包括支援センター横交流スペース「ぽんて」	16人	宗像市社会福祉協議会	・ペーパークラフト(オレンジイノベーション) ・認知症当事者動画視聴 ・カフェタイム ・囲碁、将棋、カラオケ ・相談コーナー
21	3月17日(木) 13:30～15:00	日本赤十字九州国際看護大学 レストラン アスティ	42人	日本赤十字九州国際看護大学(宗像市魅力発見・発信プロジェクト RedCross デコポン)	・アイスブレイク(ミニゲーム) ・カフェタイム ・教員による講話(避難行動要支援者に焦点をあてた災害時の避難について) ・相談コーナー

②-2 オレンジカフェ情報交換会

■事業説明：オレンジカフェの実施運営主体は、市内で活動しているボランティア団体や事業所である。カフェ事業に取り組む中で、実施運営団体、認知症の人とその家族、市、本会が一同に会し、疑問点・改善点など様々な課題や気づき、意見交換、現状の把握など、情報と意見交換等を行うことを目的に、年1回開催している。

・オレンジカフェ情報交換会

日程	場所	参加者及び団体	内容
3月25日(水) 10:00～12:00	メイトム 宗像内 203	認知症のある人とその家族・地域ボランティア及び高齢者分野関連団体、吉武・赤間・赤間西地域包括支援センター (6団体、10人)	・オリエンテーション ・実績報告 ・情報交換タイム ・オレンジカフェについて情報提供

③「本人ミーティング」に関する取り組み

■事業説明：認知症本人が集まり、互いの体験や希望、必要としていることを語り合い、これからも希望を持って暮らせるよう交流する場である「本人ミーティング」の輪が全国で広がっている。本市でも今年度より、「本人ミーティング」を本人、家族や地域の人とともに月6回定例開催している。

■開催回数及び参加者数：74回開催 延べ571人

・まっちゃんの部屋

	日程	場所	参加者数	内容
1	4月1日	赤間西コミセン カルチャールーム	12人	座談会
2	5月13日	赤間西コミセン カルチャールーム	10人	座談会
3	6月3日	赤間西コミセン カルチャールーム	14人	座談会
4	7月1日	赤間西コミセン カルチャールーム	14人	座談会
5	8月5日	赤間西コミセン カルチャールーム	8人	座談会
6	9月2日	赤間西コミセン カルチャールーム	10人	座談会
7	10月7日	赤間西コミセン カルチャールーム	9人	座談会
8	11月4日	赤間西コミセン 和室	15人	座談会、お抹茶
9	12月2日	赤間西コミセン カルチャールーム	8人	座談会
10	1月6日	赤間西コミセン カルチャールーム	11人	座談会
11	2月3日	赤間西コミセン カルチャールーム	10人	座談会
12	3月3日	赤間西コミセン カルチャールーム	13人	座談会

・囲碁の会

	日程	場所	参加者数	内容
1	4月2日	日の里包括支援センター 「ぽんて」	4人	囲碁、おしゃべり
2	5月7日	日の里包括支援センター 「ぽんて」	7人	囲碁、将棋、おしゃべり
3	6月4日	日の里包括支援センター 「ぽんて」	6人	囲碁、将棋、おしゃべり
4	7月2日	日の里包括支援センター 「ぽんて」	6人	囲碁、将棋、おしゃべり
5	8月6日	日の里包括支援センター 「ぽんて」	8人	囲碁、将棋、カラオケ、おしゃべり
6	9月3日	日の里包括支援センター 「ぽんて」	3人	囲碁、将棋、カラオケ、おしゃべり
7	10月1日	日の里包括支援センター 「ぽんて」	5人	囲碁、将棋、カラオケ、おしゃべり
8	11月5日	日の里包括支援センター 「ぽんて」	4人	囲碁、将棋、カラオケ、おしゃべり
9	12月3日	日の里包括支援センター 「ぽんて」	4人	囲碁、将棋、カラオケ、おしゃべり
10	1月7日	日の里包括支援センター 「ぽんて」	7人	囲碁、将棋、おしゃべり
11	2月4日	日の里包括支援センター 「ぽんて」	4人	囲碁、将棋、おしゃべり
12	3月5日	日の里包括支援センター 「ぽんて」	6人	囲碁、おしゃべり

・花さく会

	日程	場所	参加者数	内容
1	4月10日	日の里包括支援センター 「ぽんて」	16人	おしゃべり、囲碁、将棋、カラオケ、他
2	5月8日	日の里包括支援センター 「ぽんて」	16人	おしゃべり、囲碁、将棋、音楽鑑賞、他

【花さく会】6月からカフェへ

・それでいい

	日程	場所	参加者数	内容
1	4月18日	メイトム宗像 結工房	9人	本人の部屋（将棋）、家族の部屋（座談会）
2	5月16日	メイトム宗像 101 会議室	12人	本人の部屋（将棋）、家族の部屋（座談会）

3	6月20日	メイトム宗像 結工房	17人	本人の部屋（将棋）、家族の部屋（座談会）
4	7月18日	メイトム宗像 結工房/101 会議室	10人	本人の部屋（将棋）、家族の部屋（座談会）
5	8月15日	メイトム宗像 結工房	5人	本人の部屋（将棋）、家族の部屋（座談会）
6	9月19日	メイトム宗像 103/101 会議室	13人	本人の部屋（将棋）、家族の部屋（座談会）
7	10月17日	メイトム宗像 結工房	14人	スマホ教室、本人の部屋（将棋）、家族の部屋（座談会）
8	11月21日	メイトム宗像 結工房	16人	ミニ講話、本人の部屋（座談会）、家族の部屋（座談会）
9	12月19日	メイトム宗像 結工房/101 会議室	12人	本人の部屋（将棋）、家族の部屋（座談会）
10	1月16日	メイトム宗像 結工房/101 会議室	12人	ミニ講話、本人の部屋（座談会）、家族の部屋（座談会）
11	2月20日	メイトム宗像 102 会議室/103 会議室	13人	本人の部屋（将棋）、家族の部屋（座談会）
12	3月21日	メイトム宗像 結工房	6人	本人の部屋（将棋）、家族の部屋（座談会）

・王将の会

	日程	場所	参加者数	内容
1	4月24日	丘の上の街 地域ふれあいサロン	6人	将棋、おしゃべり
2	5月22日	丘の上の街 地域ふれあいサロン	5人	将棋、おしゃべり
3	6月26日	丘の上の街 地域ふれあいサロン	4人	将棋、おしゃべり
4	7月24日	丘の上の街 地域ふれあいサロン	2人	将棋、おしゃべり、トランプ
5	8月28日	丘の上の街 地域ふれあいサロン	4人	将棋、おしゃべり
6	9月25日	丘の上の街 地域ふれあいサロン	4人	将棋、おしゃべり
7	10月23日	丘の上の街 地域ふれあいサロン	5人	将棋、おしゃべり
8	11月27日	丘の上の街 地域ふれあいサロン	5人	将棋、おしゃべり
9	12月25日	丘の上の街 地域ふれあいサロン	5人	将棋、おしゃべり
10	1月22日	丘の上の街 地域ふれあいサロン	5人	将棋、おしゃべり
11	2月26日	丘の上の街 地域ふれあいサロン	5人	将棋、おしゃべり
12	3月27日	丘の上の街 地域ふれあいサロン	6人	将棋、おしゃべり

・ゆりの会

	日程	場所	参加者数	内容
1	4月9日	グレース東郷	3人	座談会
2	5月14日	グレース東郷	3人	座談会
3	6月11日	グレース東郷	1人	座談会
4	7月9日	グレース東郷	1人	座談会
5	8月13日	グレース東郷	1人	座談会
6	9月10日	グレース東郷	4人	座談会
7	10月8日	グレース東郷	3人	座談会
8	11月12日	グレース東郷	3人	座談会
9	12月10日	グレース東郷	2人	座談会

10	1月14日	グレース東郷	3人	座談会
11	2月10日	グレース東郷	2人	座談会
12	5月14日	グレース東郷	3人	座談会

・みんなでやろう会

	日程	場所	参加者数	内容
1	4月25日	ふれあいの森総合公園	8人	散歩、キャッチボール、昼食
2	5月23日	池野コミセン 大会議室	5人	今後の活動について企画会議
3	6月27日	カラオケサウンドパーク宗像東郷店	14人	カラオケ
4	7月25日	池野コミセン 大会議室	6人	座談会、今後の活動について企画会議
5	8月22日	池野コミセン 多目的ホール	7人	卓球、座談会
6	9月26日	池野コミセン 大会議室	6人	今後の活動について企画会議
7	10月24日	池野コミセン 大会議室	9人	今後の活動について企画会議、散歩
8	11月28日	ぶどうの樹 野々庵	10人	食事会
9	12月26日	池野コミセン 大会議室	10人	座談会、クリスマスプレゼント交換
10	1月23日	池野コミセン 大会議室	10人	オレンジノベーション参加、散歩
11	2月27日	池野コミセン 大会議室	9人	オレンジノベーション参加、企画会議
12	3月27日	ふれあいの森総合公園	20人	お花見、散歩

④RUN 伴（＋）遠賀・宗像・古賀・新宮エリア実行委員会活動

■事業説明：日本全国のまちが、認知症になっても安心して暮らしていくことができる地域になることを目指して、認知症の人とともにタスキをつなぐ列島リレー「RUN 伴」に平成27年から参加していた。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため開催中止以降、本地域でRUN 伴及びRUN 伴＋は開催されていない。

⑤チームオレンジ活動

■事業説明：令和5年度より認知症の人とともに支え合う地域づくりを目指してチームオレンジ活動に取り組んでいる。今年度は27人のチームオレンジサポーターが参加した。

■チームオレンジミーティング

■開催回数及び参加者数：8回開催 延べ135人

	日程	場所	参加者数	内容
1	4月22日（火）	メイトム宗像202会議室	19人	チームオレンジ活動紹介
2	6月24日（火）	メイトム宗像202会議室	19人	チームオレンジ活動充実のための意見交換
3	7月11日（金）	宗寿園ケアスクール	13人	宗寿カフェ開催準備、意見交換
4	8月21日（木）	メイトム宗像101会議室	16人	認知症カフェについて情報共有
5	9月12日（金）	宗寿園ケアスクール	16人	宗寿カフェ開催準備、意見交換
6	10月28日（火）	メイトム宗像202会議室	21人	宗寿カフェふりかえり、意見交換
7	12月18日（木）	海の道むなかた館	15人	出張おもやいカフェ in 玄海 開催準備、意見交換
8	令和8年 2月19日（木）	メイトム宗像203会議室	16人	今年度チームオレンジ活動のふりかえり、意見交換

(6) 配食サービス事業

■事業説明：主に玄海地区で、高齢者への「ふれあい型配食サービス事業」を実施しているボランティア団体へ助成を行った。

助成額	団体名	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	浜ゆうの会	138,000 円	138,000 円	138,000 円

6 障がい児者福祉事業の推進

(1) 障がい児者福祉団体活動への支援

①宗像市あゆみの会活動への助成・支援

■内 容：宗像市あゆみの会への活動費補助金の交付及び活動支援。

補助金交付額	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	225,000 円	225,000 円	225,000 円

②宗像市身体障害者福祉協会活動への助成・支援

■内 容：宗像市身体障害者福祉協会への活動費補助金の交付及び活動支援。

補助金交付額	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	340,000 円	690,000 円	690,000 円

③あじさいの会活動への助成・支援

■内 容：障がいのある人とボランティアが協働で社会参加活動を行う「あじさいの会」へ、活動費補助金の交付及び活動支援。

補助金交付額	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	80,000 円	80,000 円	80,000 円

④宗像コスモス会への助成

■内 容：精神に障がいのある人とその家族で構成する福祉団体コスモスの会へ、活動費補助金を交付。

補助金交付額	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	88,000 円	88,000 円	88,000 円

⑤パソコンクラブへの支援

■内 容：障がいのある人で構成される社会参加型のパソコンクラブ。本会の福祉教育読本とともに生きる感想文集のデジタル化（パソコン入力）を毎年行なっている。

委託金交付額	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	30,000 円	30,000 円	30,000 円

(2) 障がい者等への情報配信事業

①手話講習会事業

■事業説明：コミュニケーション方法のひとつ「手話」を学び、聴覚障がいや難聴の人の理解促進を図る事業。

■会 場：●火曜・土曜コース…メイトム宗像 ●金曜コース…玄海地区コミセン

■講習会日時：●火曜コース…19時から21時 ●金曜コース…13時30分から15時30分
●土曜コース…13時から15時

■運営委託

①手話サークル「シュワッチ」火・土曜コース ②玄海手話サークル「ゆび」金曜コース

活動実績	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	回数	参加数	回数	参加数	回数	参加数
火曜	34 回	908 人	31 回	935 人	35 回	855 人
金曜	35 回	331 人	36 回	440 人	36 回	391 人
土曜	36 回	1,572 人	31 回	1,916 人	35 回	1,496 人
合計	105 回	2,811 人	98 回	3,291 人	106 回	2742 人

事業説明：視覚に障害のある市民へ市や地域の情報を届けるため、毎月1回宗像市広報「むなかたタウンプレス」等を音訳、デジタル録音したCDを配布する事業。市のYouTubeでも配信。

■委託団体：日の里テープの会・ボランティアグループグリーンボイス・森林都市うぐいす

利用者数 (視覚障がい者)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	11人	11人	10人

③要約筆記ボランティア事業

■事業説明：聴覚・言語・音声機能などの障がいのために、意思疎通を図ることに支障のある人に対する要約筆記活動を軸にしたボランティア活動。本会が実施している福祉ボランティア養成講座「要約筆記ボランティアコース」の受講者を中心に結成された「暖歩（ダンボ）」が活動。

■活動内容

実施日	場 所	主な活動内容
適宜	メイトム宗像	学習会、講演会等での要約筆記協力 ●パソコン要約筆記学習 ●手書きによる要約筆記学習 ●ノートテイク活動

（３）おもちゃ図書館の運営

■事業説明：障がいのある人や子ども、高齢の人が「布のおもちゃ」などの療育遊具等で遊びながら療育を行うことができる施設を開設し、おもちゃの貸し出しも実施している。館の運営、布おもちゃの作成はボランティアに委託している。おもちゃの作成、貸し出し運営以外にも広報紙「たんぽぽ通信」を発行、訪問型のおもちゃ図書館「出張おもちゃ図書館」を実施。

■開館場所：メイトム宗像別館「居宅介護支援センター」1F

■開館日時：毎週木曜日 14：00～17：00・第2・4土曜日 14：00～16：00

■運営委託：宗像おもちゃライブラリー

	項目／年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動実績	制作・修理点数	73点	119点	147点
	貸出し点数	567点	669点	742点
	延べ利用入館者数	377人	588人	596人
	出張・臨時おもちゃ図書館	4回	4回	1回

■出張・臨時おもちゃ図書館：おもちゃ図書館に来所することが困難な団体などに対し、出張訪問などで対応する。

日程	訪問先	参加者数
3月 4日	赤間西小学校	52人
合計	1回	52人

（４）車イス移送車貸出事業

■事業説明：高齢又は障がいのある車イスの利用者が、地域の行事への社会参加及び通院など、自由に外出できるよう車イス移送車を貸し出す事業。

	項目／年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動実績	利用登録数	個 人	11人	12人
		団 体	1団体	1団体
		スロープカー	45回	38回

7 低所得者福祉事業の推進

(1) 生活福祉資金貸付事業（福岡県社会福祉協議会委託事業）の推進

①生活福祉資金貸付・償還事務の適切な実施

■事業説明：生活福祉資金は、低所得者の経済的自立や失業による一時的な困窮など、安定した生活を営めるように資金を貸付する制度。資金の種類としては、高校・大学などへの進学や卒業を支援する「教育支援資金」、生活保護受給や初任給までのつなぎとしての「緊急小口資金」、失業者への総合的な支援に活用できる「総合支援資金」などがある。

	項目／年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
貸付実績	教育支援資金	17件	22件	11件
	福祉費	6件	4件	7件
	緊急小口資金	24件	26件	22件
	臨時特例つなぎ資金	1件	1件	0件
	総合支援資金	1件	0件	0件
	合 計	49件	53件	40件

②「生活困窮者支援制度」による支援事業との連携

■事業説明：支援調整会議（事務局：宗像市生活支援課）に出席し、「生活困窮者自立支援制度」に関わる個別ケースについての情報共有を行うことで、社会福祉協議会が行っている「生活福祉資金貸付事業」との連携を図った。

(2) 歳末たすけあい募金の実施及び募金の配分

①歳末たすけあい募金の実施及び募金の配分

■事業説明：歳末たすけあい募金の実施に関して、宗像市民生委員児童委員協議会と協働して取り組むもの。

■実施内容：新型コロナウイルス感染予防のため2年間活動を中止したが、令和4年度より各商店や企業などへ募金の依頼を再開し、従来の個別訪問方式から、郵送振込方式へ見直した。また、民生委員児童委員と協働し、JR各駅や道の駅むなかた、サンリブなどで街頭募金を実施した。集まった募金は、支援を必要とする世帯、子育て支援団体、本会の教育支援資金の貸付を受けた高校生が属する世帯（生活保護世帯除く）に対して募金の配分を行った。

■実施期間：11月1日～12月31日

	項目／年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動実績	募金実績額	765,696円	821,964円	851,773円
	見舞金配分	275,000円	235,000円	205,000円
	子育て支援団体へ配分(翌年度事業)	490,000円	586,000円	646,000円
	赤い羽根共同募金へ繰り入れ	696円	964円	773円

※子育て支援団体：子育てサークル、子育て・母子福祉支援団体

8 子育て子育て・母子寡婦福祉支援事業の推進

(1) 子育て・子育て支援事業の充実

①こねっと活動助成支援

■事業内容：子育て支援事業に取り組んでいる「NPO 法人むなかた子育てネットワークこねっと」への活動費補助金を交付。

補助金交付額	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	40,000 円	40,000 円	40,000 円

②子育て支援団体等への活動費助成支援

■事業説明：歳末たすけあい募金の中から、助成を希望する子育て支援団体等へ活動資金の助成を行う。

※（ ）内の数字は助成団体数

配分金交付額	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	490,000 円 (7)	586,000 円 (7)	586,000 円 (7)

(2) 地域福祉文庫連絡協議会活動助成支援

■事業説明：地域子どもたちに本の楽しさ、面白さを知ってもらうために、地域福祉文庫の設置を行った。現在では、4 文庫が活動を行っている。平成 18 年に、5 つの文庫で構成する連絡協議会を設立した。

■活動内容：各文庫間の情報交換、絵本の素晴らしさや絵本を通じた親子のふれあいの大切さなどを伝えるための活動を支援。また、各文庫活動の質の向上を図るため、会員研修会の実施を支援した。

実施事業	実施時期	主な活動内容
講演会	11 月 11 日	テーマ：『あかちゃんと絵本 ～乳幼児期からの絵本との出会い～』 講師：すえまちおひさまおはなしの会 代表 永吉 由美子さん 参加者：18 人

■助成内容：宗像市地域福祉文庫連絡協議会への活動費補助金の交付及び活動支援。

補助金交付額	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	145,000 円	245,000 円	210,000 円

(3) 宗像市母子寡婦福祉会活動助成支援

■事業説明：母子家庭の母親の就労支援及び子育て支援、福祉の向上を図るため、宗像市母子寡婦福祉会の活動支援と協力を実施。

■活動内容：宗像市母子寡婦福祉会へ活動補助金の交付、事業の活動支援等を行った。

■助成内容：宗像市母子寡婦福祉会への活動費補助金の交付及び活動支援。

補助金交付額	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	270,000 円	270,000 円	270,000 円

9 福祉教育の推進

(1) 福祉教育推進校（園）指定事業の実施

①福祉教育推進校（園）の指定

■事業説明：平成18年度から福祉教育推進計画に基づいた「福祉教育推進事業実施要綱」により、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校を対象に「推進校」を指定し、子どもへの福祉教育を実施するもの。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指定校（園）数	■福祉教育推進校 ①幼稚園（推薦園）2園 ②保育園（推薦園）2園 ③小学校15校 ④中学校7校 ⑤高校2校 【計：28校・園】	■福祉教育推進校 ①幼稚園（推薦園）2園 ②保育園（推薦園）2園 ③小学校15校 ④中学校8校 ⑤高校2校 【計：29校・園】	■福祉教育推進校 ①幼稚園（推薦園）2園 ②保育園（推薦園）2園 ③小学校15校 ④中学校8校 ⑤高校2校 【計：29校・園】

②福祉教育推進校（園）への福祉体験学習等の支援

■事業説明：福祉教育推進校（園）が実施する福祉体験学習等の実施を支援した。

■実施校数：小学校13校、中学校2校

対象者数	学校/学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
	小学校			872人	920人	579人	173人	2,544人
	中学校	107人	3人	2人				112人
	高校							
						令和7年度 合計		2,656人
						令和6年度 合計		2,915人
						令和5年度 合計		2,533人

■主な支援内容

学校名	対象者	主な活動内容
吉武小学校	3年生 (20人)	■実施日：6月30日、7月7日 ■主な協力者：手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：手話体験、聴覚障がい者との交流
	4年生 (26人)	■実施日：6月11日、24日 ■主な協力者：点訳ボランティア「てんとうむし」、ガイドボランティア「アイフレンド」 ■主な内容：アイマスク・ガイド体験、点訳体験
	5年生 (39人)	■実施日：6月13日 ■主な協力者：保護者 ■主な内容：車いす体験
	6年生 (23人)	■実施日：6月16日、19日、26日 ■主な協力者：保護者 ■主な内容：宗像市・吉武地区の現況、高齢者疑似体験、認知症サポーター養成講座
赤間小学校	3年生 (136人)	■実施日：6月27日 ■主な協力者：手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：リモートによる聴覚障がい者との交流・質疑応答・手話体験

	4 年生 (136 人)	■実施日：6 月 16 日 ■主な協力者：手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：リモートによる聴覚障がい者との交流・質疑応答・手話体験
		■実施日：2 月 9 日、12 日、16 日、19 日、26 日 ■主な協力者：ガイドボランティア「アイフレンド」 点訳ボランティア「てんとうむし」、視覚障がい者 ■主な内容：アイマスク・ガイド体験（DVD 活用/学校対応）・点訳体験・視覚障がい者との交流会
赤間西小学校	3 年生 (78 人)	■実施日：2 月 2 日 ■主な協力者：手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：リモートによる手話体験、聴覚障がい者との交流
	4 年生 (79 人)	■実施日：9 月 12 日、10 月 23 日 ■主な協力者：地域住民 ■主な内容：高齢者疑似体験、地域の方との交流会
自由ヶ丘小学校	3 年生 (103 人)	■実施日：1 月 28 日、2/24 ■主な協力者：手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：リモートによる聴覚障がい者との交流、質疑応答、手話体験
	4 年生 (122 人)	■実施日：1 月 27 日、2 月 20 日 ■主な協力者：ガイドボランティア ■主な内容：アイマスク・ガイド体験、点字体験、視覚障がい者との交流
	5 年生 (110 人)	■実施日：2 月 12 日、19 日 ■主な協力者：自由ヶ丘地区福祉会役員と保護者 ■主な内容：車いす体験学習、車いす利用者との交流
東郷小学校	3 年生 (126 人)	■実施日：1 月 26 日、2 月 17 日 ■主な協力者：手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：リモートによる聴覚障がい者との交流会、質疑応答、手話体験
	4 年生 (117 人)	■実施日：9 月 17 日、18 日、22 日、29 日、10 月 14 日、29 日、11 月 13 日 ■主な協力者：視覚障がい者、ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」、あじさいの会、東郷地区福祉会、東郷地区民生委員児童委員 ■主な内容：アイマスク・ガイド体験（児童及び保護者）、点訳体験、視覚障がい者との交流会、学習発表会
	6 年生 (109 人)	■実施日：9 月 26 日、10 月 2 日、17 日、20 日、23 日、11 月 17 日、20 日、21 日、12 月 10 日 ■主な協力者：東郷地区シニアクラブ、まりしの郷里、デイサービスセンターみのり ■主な内容：高齢者疑似体験（児童及び保護者）、認知症サポーター養成講座、高齢者との交流会、プレゼン大会
南郷小学校	3 年生 (50 人)	■実施日：10 月 6 日 ■主な協力者：手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：聴覚障がい者との交流会、質疑応答、手話体験
	4 年生 (40 人)	■実施日：11 月 20 日、26 日、12 月 4 日 ■主な協力者：視覚障がい者、ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」、南郷地区福祉会 ■主な内容：アイマスク・ガイド体験、点訳体験、視覚障がい者との交流会

	5年生 (49人)	■実施日：1月31日 ■主な内容：車いす体験学習（車いすの理解、支援の仕方の学習）
	6年生 (36人)	■実施日：1月23日、26日、2月4日 ■主な内容：車いす体験学習（車いすの理解、支援の仕方の学習） 高齢者疑似体験、認知症サポーター養成講座
日の里西小学校	3年生 (69人)	■実施日：9月22日、10月22日 ■主な協力者：手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：リモートによる聴覚障がい者との交流、質疑応答、手話体験
	4年生 (70人)	■実施日：1月29日、2月6日、12日 ■主な協力者：視覚障がい者、ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」 ■主な内容：視覚障がい者との交流会・アイマスク体験（児童・保護者）、点訳体験
	5年生 (52人)	■実施日：5月29日、6月4日、9日、16日、17日、24日、7月11日 ■主な協力者：保護者、シニアクラブ（8.9丁目） ■主な内容：宗像市・日の里地区の現況、高齢者疑似体験・車いす体験（児童・保護者）、認知症サポーター養成講座、地域の高齢者（シニアクラブ）との交流会
日の里東小学校	3年生 (40人)	■実施日：9月22日、10月22日 ■主な協力者：手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：リモートによる聴覚障がい者との交流・質疑応答・手話体験
	4年生 (63人)	■実施日：2月10日、25日、3月5日 ■主な協力者：視覚障がい者、ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」 ■主な内容：視覚障がい者との交流会・アイマスク体験（児童・保護者）、点訳体験
	5年生 (44人)	■実施日：5月27日、6月4日、5日、16日、18日、27日、7月14日 ■主な協力者：保護者、シニアクラブ（2.3.5.6丁目） ■主な内容：宗像市・日の里地区の現況、高齢者疑似体験・車いす体験（児童・保護者）、認知症サポーター養成講座、地域の高齢者（シニアクラブ）との交流会
河東小学校	3年生 (110人)	■実施日：10月20日 ■主な協力者：聴覚障がい者、手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：リモートによる聴覚障害者との交流・質疑応答・手話体験
	4年生 (131人)	■実施日：3月2日、3日、9日、10日、3月13日 ■主な協力者：視覚障がい者、ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」 ■主な内容：アイマスク・ガイド体験（DVD活用/学校対応）、点訳体験（DVD活用/学校対応）、視覚障がい者との交流会
	5年生 (118人)	■実施日：7月2日、3日 ■主な内容：車いす体験学習（車いすの理解、支援の仕方の学習）
河東西小学校	3年生 (105人)	■実施日：1月19日、2月16日 ■主な協力者：聴覚障がい者、手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：リモートによる聴覚障がい者との交流・質疑応答・手話体験

	4 年生 (100 人)	■実施日 ：1 月 23 日、26 日、2 月 6 日 ■主な協力者 ：視覚障がい者、ガイドボランティア「アイフレンド」 点訳ボランティア「てんとうむし」 ■主な内容 ：アイマスク・ガイド体験（DVD 活用/学校対応）、 点訳体験（DVD 活用/学校対応）、視覚障がい者との交 流会
玄海小学校	3 年生 (17 人) 4 年生 (15 人)	■実施日 ：2 月 19 日 ■主な協力者 ：聴覚障がい者、玄海手話サークルゆび ■主な内容 ：聴覚障がい者との交流
玄海東小学校	3 年生 (16 人)	■実施日 ：2 月 3 日 ■主な協力者 ：聴覚障がい者、玄海手話サークルゆび ■主な内容 ：聴覚障がい者との交流
	4 年生 (19 人)	■実施日 ：6 月 26 日、7 月 9 日 ■主な協力者 ：視覚障がい者、ガイドボランティア「アイフレンド」、 点訳ボランティア「てんとうむし」 ■主な内容 ：アイマスク・ガイド体験、点訳体験
日の里中学校	1 年生 (107 人)	■実施日 ：10 月 29 日、11 月 6 日、22 日、12 月 4 日、10 日、 2 月 26 日、3 月 5 日 ■主な協力者 ：シニアクラブ、民生委員児童委員協議会、地域住民 地区福祉会、日の里地域包括支援センター、 ■主な内容 ：地域の高齢者の活動と現状、高齢者を支える社会の 仕組み“介護保険制度”と“地域支え合い活動”、 認知症についての理解（認知症本人・チームオレンジ講 話）、地域への出張スマホ教室
大島学園	3 年生 (2 人) 4 年生 (2 人)	■実施日 ：12 月 2 日 ■主な協力者 ：玄海手話サークルゆび ■主な内容 ：聴覚障がい者との交流
	5 年生 (7 人) 6 年生 (5 人)	■実施日 ：11 月 28 日 ■主な内容 ：車いす体験学習
	8 年生 (3 人) 9 年生 (2 人)	■実施日 ：5 月 27 日、30 日 ■主な協力者 ：社協大島支所職員 ■主な内容 ：高齢者疑似体験、認知症サポーター養成講座、 大島の高齢者の現状についての講話

③福祉教育推進校連絡会の実施

- 事業説明：「福祉教育推進事業実施要綱」により、指定を受けた保育園・幼稚園・小学校・中
学校・高等学校で構成する福祉教育推進校（園）連絡会を 2 回開催している。

実施事業	実施日時	主な内容
第 1 回連絡会	■令和 7 年 6 月 27 日 ■メイトム宗像 202 会議室	■報告・連絡事項 ・福祉教育のご案内 →福祉教育の申込等説明 ・各校（園）の福祉教育の取り組みの報告 ・宗像市福祉教育セミナーの開催について ・福祉教育読本「ともに生きる」の活用と読後感想文コンク ールの案内 ・福祉絵画コンクールについて ・認知症サポーター養成講座受講について ・ジュニアボランティアスクール開催について

第2回連絡会	■令和8年 2月24日 ■メイトム宗像 202会議室	・福祉教育推進事業に係る報告書類の事務手続きについて ・おもちゃ図書館について ・東郷小学校6年生 福祉教育実践報告について ・福祉教育実施についてのお願い ・車いすユーザーとの交流会について ・福祉教育読本「ともに生きる」感想文及び福祉絵画コンクールの受賞作品集「ともだち」の配布について
--------	---	--

④福祉教育読本「ともに生きる」の配布と活用の推進

- 事業説明：市内の小学5年生を対象に福祉読本及び教材「ともに生きる」を配付し、読後感想文を募集して、優秀な感想文を表彰した。また、作品集「ともだち」を作成し、本会ホームページにて公開した。
- 活動内容：受賞者に記念品及び参加賞を贈呈した。
- 対象児童：市内全小学校 5年生
- 応募数：100作品（15校）
- 作品展示：11月18日～12月7日 メイトム宗像1階 健診室廊下側壁面
- 作品集発行：作品集「ともだち」配付先：全受賞児童、市内の保育園・幼稚園、小・中・高等学校及び市教育長、市民図書館等、計130部

⑤福祉絵画コンクールの開催

- 事業説明：福祉教育推進校（園）等の子どもたちとその保護者に、福祉への関心を高めてもらうため「思いやり・優しさ」をテーマに絵画コンクールを実施。
- 活動内容：受賞者に記念品及び参加賞を贈呈した。
- 応募対象：市内全保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の児童生徒
- 作品展示：11月18日～12月7日 メイトム宗像1階ロビー
- 作品集発行：作品集「ともだち」配付先：全受賞児童、市内の保育園・幼稚園、小・中・高等学校及び市教育長、市民図書館等、計130部

参加作品総数	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	513 作品	434 作品	671 作品

（2）社会福祉援助技術現場実習生の受け入れ

- 事業説明：将来、社会福祉の専門職又は専門資格を取得することを目的として、社会福祉の現場（本会）で実習を希望する者の受け入れを福祉教育の一環として行っている。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実習生 受入実績	■F・Cフチガミ医療福祉 専門学校 2人 ■西南女学院大学 1人 期間:8月10日～9月15日 （実質24日間） ■西南女学院大学 1人 期間:2月13日～2月22日 （実質8日間）	■F・Cフチガミ医療福祉 専門学校 2人 ■西南女学院大学 1人 期間:8月13日～9月13日 （実質24日間） ■西南女学院大学 1人 期間:2月12日～2月21日 （実質8日間）	■麻生医療福祉&保育専 門学校 1人 期間:8月18～8月29日、 9月4日 （実質11日間）

（３）宗像市福祉教育セミナーの開催

■事業説明：福祉教育推進校（園）の教職員及び地域福祉の推進に関わる人に、福祉教育への理解と地域福祉への参画を推進するため、平成 17 年度から標記セミナーを開催している。

■事業内容：【テーマ】 みらいにつながる福祉教育 ～学校・地域・家庭における協働～

- ・日時 令和 7 年 8 月 21 日(木) 13:30～15:30
- ・会場 メイトム宗像 202 会議室
- ・講師 ふくしと教育の実践研究所 SOLA (Social-Labo) 主 宰 新崎 国広 様

■参加者数

参加者数	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
	86 人	127 人	67 人

10 活動財源の確保

（１）共同募金・宗像市社協自動販売機の設置

■事業説明：社協自動販売機で飲料水等を購入した場合に、本会等に寄付が行われる「寄付つき商品型自動販売機」の設置を推進した。

■設置状況：設置台数 計 17 台

実績額	項目／年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
	手数料収入	531, 130 円	455, 958 円	495, 046 円

（２）香典返し・一般寄付等の高額寄付者への感謝状の贈呈と初盆参りの実施

■事業説明：香典返しの寄付と一般の寄付などの受け入れを行っている。30,000 円以上の寄付者に感謝状を贈呈。

事業実績	項目／年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 7 年度
	感謝状贈呈数	10 件	12 件	18 件
	香典返寄付金	53 件 (1, 015, 000 円)	38 件 (998, 412 円)	35 件 (995, 000 円)
	一般寄付金	8 件 (2, 230, 777 円)	5 件 (85, 801 円)	2 件 (33, 947 円)
	計	61 件 (3, 245, 777 円)	43 件 (1, 084, 213 円)	37 件 (1, 028, 947 円)

（３）ファンドレイジング（資金調達）に関する事業の実施

①福祉機器貸出の有料化

■貸与品：車イス（自走式・介助式）

■対象者：高齢者及び傷病者の介護など、一時的に車イスを必要とする人

■料金等：運営協力費として 1 回 500 円

■期 間：1～30 日間（原則として 1 回 1 ヶ月以内。ただし、更新 2 回まで可）

■事業説明：高齢者及び障がいのある人などを対象に、一時的な車イスの貸し出しを行った。

事業実績	項目／年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
	延べ利用件数	238 件	256 件	209 件
	運営協力費	119, 000 円	128, 000 円	104, 500 円

11 ボランティア活動・市民活動の促進

(1) ボランティアセンター事業の適切な運営

ボランティア登録事業実績		令和5年度	令和6年度	令和7年度
ボランティア登録	提供個人	35 件	11 件	3 件
	提供団体	3 件	5 件	5 件
	依頼個人	3 件	3 件	1 件
	依頼団体	11 件	15 件	14 件
	依頼申込個人	123 件	72 件	62 件
	依頼申込団体	170 件	212 件	156 件
ボランティア活動状況	件 数	253 件	257 件	208 件
	活動人数	1,450 人	1,775 人	1,749 人
	調整数	841 件	707 件	641 件
HP アクセス数	アクセス件数	7,702 件	10,424 件	16,020 件
センター利用状況	窓 口	1,298 件	1,451 件	1,502 件
	電 話	1,230 件	950 件	1246 件
	合 計	2,528 件	2,401 件	2,748 件

■ ボランティア活動分野別登録状況

	福祉	保健医療	環境	観光	国際交流	まちづくり	子ども	学習	合計
個人 (人)	495	89	123	124	87	111	211	115	1,355
	37%	7%	9%	9%	6%	8%	16%	8%	100%
団体 (団体)	70	7	8	10	8	14	18	9	144
	48%	5%	6%	7%	6%	10%	12%	6%	100%

※ボランティア活動分野別登録状況は、V-net 開設時（平成 14 年 3 月）からの累計。

■ むなかたボランティアシステム利用状況

むなかたボランティアシステム実績		令和5年度	令和6年度	令和7年度
システム活動状況	依頼件数	41 件	68 件	137 件
	依頼人数	331 人	608 人	1,012 人
	活動件数	38 件	60 件	126 件
	活動人数	158 人	353 人	754 人
	登録団体数	26 団体	43 団体	55 団体

むなかたボランティアシステムは令和5年10月より運用スタート

② 広報・啓発事業

■ 事業説明：ボランティア活動の促進を目的として、主に市内のボランティア及びボランティア活動の募集などの情報を宗像市ボランティアセンターInstagram、公式 LINE を活用して随時配信している。

実績		令和6年度	令和7年度
Instagram	フォロワー数	920 人	2,290 人
	投稿数	252 件	177 件
公式 LINE	お友だち数	399 人	814 人
	配信数	63 件	113 件

Instagram フォロワー、公式 LINE お友だち数は令和6年度からの累計

(2) ボランティア講座の開催

① ボランティア入門講座

■事業説明：ボランティア活動を始めたい人、始めて間もない人、ボランティア活動及びこの講座に関心のある人を対象に開催した。

■事業内容：合同会社アウエフキャリア代表 キャリアカウンセラーの田島聡子氏を講師に招き「傾聴」について学んでもらった。地域や様々な場所で活動するボランティアには、相手を尊重し、思いを受けとめる「傾聴」の姿勢が求められる。
『ボランティア入門講座～傾聴で広がるコミュニケーション～』をメインテーマに、初めてでも取り組みやすい入門編として、午前は傾聴を初めて学ぶ方向けの話からはじまり、午後は実習を取り入れた方法で実際に傾聴を体験してもらった。
講座最後には、公式 LINE の紹介、むなかたボランティアシステムの案内、傾聴グループの活動紹介をし、ボランティア活動への第一歩となる幅広い選択の機会とした。

■実施日時：令和 8 年 3 月 3 日（火）10：00～16：00

■実施場所：メイトム宗像 202 会議室

■講師：合同会社アウエフキャリア 代表 田島聡子氏

参加者数	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
	36 人	26 人	37 人

② ジュニアボランティアスクール

■事業説明：小学生・中学生対象の福祉教育拡大・発展型のボランティア体験学習を、夏休み期間中に「ジュニアボランティアスクール」として実施している。

今回は、『ジュニボラプレゼンツ～わくわくオレンジカフェ～第二弾』をテーマに、2 日半に渡って開催した。オレンジカフェでは、福祉ボランティア「にじいろぽけっと」に協力を仰ぎ、障がいがある人、ない人、認知症の人、そうでない人も共に楽しめるように、「障がい」「高齢者」「認知症」について考え、理解を深めながら、みんな一緒に楽しめるオリジナリティあふれるオレンジカフェ第二弾を企画、開催した。

誰もが安心して暮らす社会になるために、今の自分にできる事を考え、可能な範囲で自分自身の役割を見つけ、実行できることを目標とし、講座参加者全員を「こども福祉員」に任命した。

■実施場所：メイトム宗像内 会議室他

実施時期	内容
7 月 30 日(水)	☐ 開講式・オリエンテーション・アイスブレイク ☐ 認知症についての学習 ☐ 車いす体験 ・車いすの操作方法・適切なサポートについて学ぶ ・車いすで館内のチェックポイントを周りながらカフェの案内 ☐ ジュニボラわくわくオレンジカフェ開催に向けて① ・オレンジカフェの体験・準備 ☐ ふりかえり学習
7 月 31 日(木)	☐ 朝の会 ☐ ジュニボラわくわくオレンジカフェ開催に向けて② ・みんなで楽しめるレクリエーションを考える ・準備、最終確認 ☐ ジュニボラわくわくオレンジカフェ開催 ☐ ふりかえり学習

8月1日(金)	☐ 朝の会 ☐ グループワーク・ジュニボラ新聞づくり、発表 ☐ 子ども福祉員任命式
---------	--

協力団体：福祉ボランティア にじいろぽけっと

参加者数	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	11人	23人	20人

(3) ボランティア活動との連携・支援強化

■事業説明：福祉ボランティア活動連絡協議会の役員会・運営委員会への参加・助言。自主研修会、総会などについて助言・指導。各ボランティアグループへの個別指導・助言。福祉教育現場での参加支援。行政や各施設で行われるイベントへの参加支援。現在、10団体が所属している。

■活動支援の内容

実施事業	実施時期	主な活動内容
定期総会	令和7年 4月	総会：4月23日実施
運営推進委員会	月1回	毎月1回開催の定例会議
連絡会	月1回	毎月第1水曜：午後開催
役員研修	6月22日	手話ミュージカル「ドロシーと星の道しるべ」鑑賞 場所：福岡城南市民センター 参加人数：6人
内部研修	7月16日	救急救命講習 場所：メイトム宗像 健診室 参加人数：17人
全体研修	8月17日	太刀洗平和記念館と筑前町ボラ連との交流 場所：福岡県朝倉郡筑前町 参加人数：25人
交流会	10月21日	福祉ボランティア活動連絡協議会交流会と宮若市ボラ連との交流会 ■場所：メイトム宗像・101、202会議室 ■参加人数：45人
参加・協力	2月15日	ふくおか「きずな」フェスティバルへの参加・協力 ■場所：クローバープラザ（春日市） ■参加人数：16人 ■基調講演 「災害に備えた地域づくり～平時からのつながりに焦点を当てて～」 講師：特定非営利活動法人 福岡災害レジリエンス研究室 代表 平川 文 氏 ■テーマ別分科会 ■親子“きずな”イベント
参加・協力	随時	■随時：福祉教育・オレンジカフェの協力 ■7月30、31日ジュニアボランティアスクール・オレンジカフェへの参加・協力（にじいろぽけっと） ■8月21日福祉教育セミナー「みらいにつながる福祉教育～学校・地域・家庭における協働～」参加・協力

広報活動	4 月と 9 月	ボラ連だより「あ・し・た」の発行（第 14 号・15 号）
	随時	活動紹介チラシ配布

■宗像市福祉ボランティア活動連絡協議会へ活動費補助金の交付及び活動支援

補助金交付額	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
	450,000 円	510,000 円	510,000 円

②ボランティア保険加入補助

■事業説明：V-net に登録している個人、団体ボランティア、福祉会のボランティアなどがボランティア活動保険に加入した際に、その保険料一人当たり 175 円を補助した。

合計補助金額	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
	245,000 円	245,000 円	245,000 円

③ボランティア活動振興基金積立事業

■事業説明：福祉ボランティア活動振興基金の基金果実を含め、福祉ボランティア活動連絡協議会に助成した。

実績額	項目／年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
	助成金額	10,000 円	10,000 円	10,000 円

12 赤い羽根共同募金運動への協力

(1) 共同募金への協力

■組織体制

福岡県共同募金会の支部組織「福岡県共同募金会宗像市支会」として、理事会を開催。当該年度の募金目標額及び募金活動の議事について審議、決定した。理事は、地区自治会長会代表 12 人、民生委員・児童委員協議会会長 1 人、商工会 1 人、シニアクラブ連合会会長 1 人、市執行部（健康福祉部長）1 人、識見を有する者 1 人（社会福祉協議会会長）により構成されている。

■福岡県共同募金会宗像市支会

「福岡県共同募金会宗像市支会」（事務局：社会福祉協議会）として、募金活動を行った。

■募金方法と募金実績額

毎年 10 月 1 日～12 月 31 日までの間で募金活動を実施。

年度実績		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
項目	■戸別募金	8,759,291 円	8,294,712 円	7,806,762 円
	■街頭募金	191,462 円	158,594 円	156,010 円
	■学校募金	157,183 円	124,240 円	105,483 円
	■職域募金及び資材を活用した募金	611,618 円	567,609 円	504,536 円
	■イベント募金	94,315 円	74,814 円	112,976 円
	■個人募金、その他	277,688 円	160,399 円	291,070 円
	実績額合計	10,091,557 円	9,380,368 円	8,976,837 円

■配分実績

募金実績額に対する福岡県共同募金会から宗像市支会への配分先と配分金額

	配分先	配分金額
■地域配分（B 枠） 福岡県共同募金会から宗像市社会福祉協議会に対し、申請に基づいて配分される。本会の理事会・評議員会で承認された地域福祉活動を行うための事業費。	高齢者福祉に	840,000 円
	児童・青少年福祉に	262,000 円
	障がい児・者福祉に	1,557,000 円
	子育て支援活動に	219,000 円
	ボランティア活動に	534,000 円
	福祉活動の支援に	2,395,000 円
	情報提供・啓発活動に	505,000 円
合計		6,312,000 円

(2) 歳末たすけあい募金の実施及び募金の配分（再掲）

※7 低所得者福祉事業の推進（2）歳末たすけあい募金の実施及び募金の配分を参照（P33）。

13 障害者生活支援センター運営事業

■宗像市委託事業

(1) 障害者生活支援センター事業

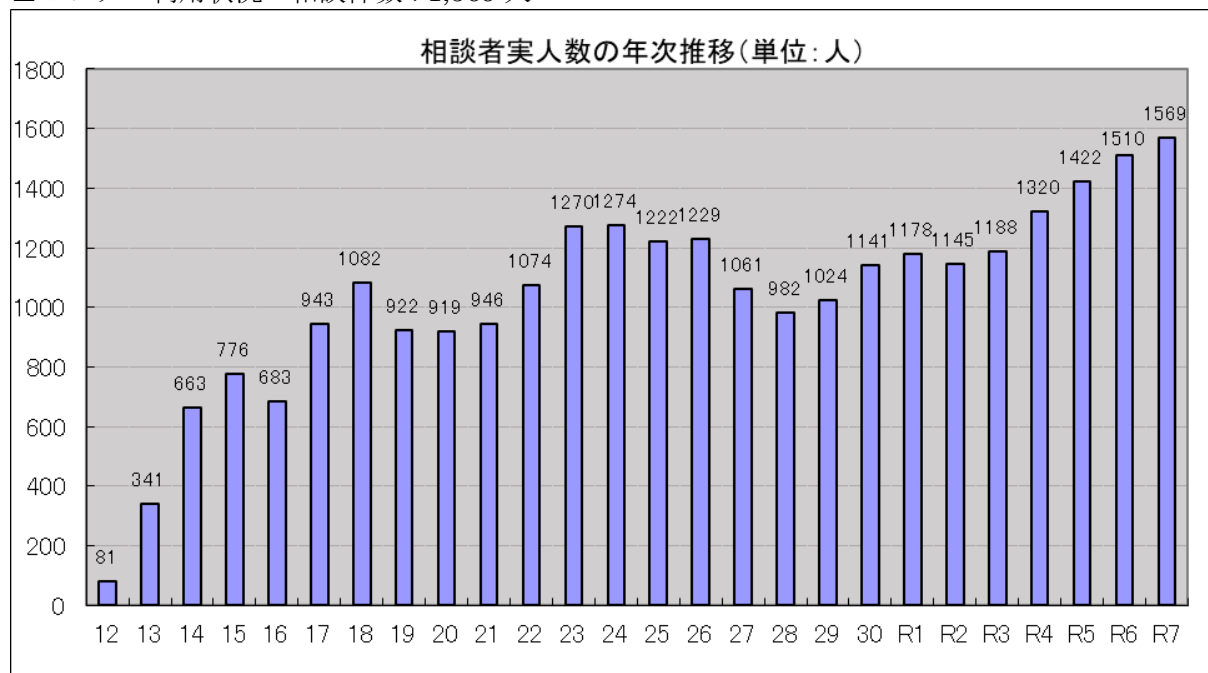
■事業説明：基幹相談支援センターとして、市における相談支援の中核的な役割を担うとともに、宗像市に居住する障がい者に対し、障がい福祉サービスの利用促進、及び各種情報の提供、相談・助言等を総合的に行うことにより、障がい者及びその家族の地域における生活を支援し、障がい者の自立と社会参加の促進を図ることを目的とする。

■事業内容：○基幹相談支援センター事業の充実
 ○総合的な相談業務及びピアカウンセリング
 ○自立支援協議会の協働運営
 ○支援困難事例への対応や相談支援事業所への助言
 ○地域の相談支援専門員の人材育成
 ○個別支援会議の充実に向けた取り組み
 ○地域移行支援に向けた各関係機関との連携
 ○成年後見制度の利用促進に向けた取り組み
 ○地域生活支援拠点等整備事業に関する取り組み
 ○医療的ケア児等コーディネーターに関する取り組み

■職員体制：○センター長 1人
 ○相談員 3人
 ○ピアカウンセラー 2人

■開所日時：①月・火・水・木・金曜日（8時30分～17時）
 ※土・日曜日・国民の祝日・年末年始は定休日
 ②ピアカウンセリング（10時～15時）
 ※水曜日（第1、3）

■センター利用状況・相談件数：1,569人



■相談実績件数①（区分別）

項目		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
1	訪問系サービスの利用に関すること	349	399	467
2	通所系（就労以外）サービスの利用に関すること	275	225	370
3	入所系サービスの利用に関すること	378	425	458
4	外出系サービスの利用に関すること	81	91	225
5	就労系サービスの利用に関すること	518	630	715
6	日常生活用具・補装具に関すること	26	31	27
7	地域移行支援・地域定着支援に関すること	5	21	5
8	児発・放デイ・保育所等訪問支援の利用に関すること	457	583	502
9	計画相談支援に関すること	948	1,101	1,276
10	手話・代筆・点字等のコミュニケーションに関すること	34	43	20
11	医療的なケアが必要な支援に関すること	31	64	264
12	年金・手帳・自立支援医療等に関すること	102	117	122
13	介護保険制度等に関すること	239	186	217
14	権利擁護・成年後見制度等に関すること	26	51	117
15	虐待・虐待予防等に関すること	207	159	170
16	災害時・緊急時の支援に関すること	4	9	2
17	障害者差別・合理的配慮、苦情に関すること	3	9	54
18	家族関係・対人関係に関すること	643	534	559
19	障がいや病状の理解、ひきこもりに関すること	92	172	235
20	健康・医療に関すること	1,034	837	675
21	保育・教育、子育てに関すること	561	566	425
22	家計・経済的な生活困窮に関すること	198	133	164
23	金銭管理に関すること	162	93	178
24	社会参加・余暇活動に関すること	22	33	71
25	住居に関すること	129	122	242
26	犯罪行為、触法、法律に関すること	58	54	90
27	ピアカウンセリングに関すること	2	1	5
28	専門機関等の紹介に関すること	31	37	50
29	生活・福祉等の情報提供に関すること	424	415	744
30	その他必要な生活支援に関すること	1,021	863	783
計		8,060	8,004	9,232

※令和7年度より17項目に「苦情」を追加

■相談実績件数②（相談方法別）

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
①来所	1,763	1,681	1,681
②電話	4,026	3,910	4,760
③文書（メール等）	41	47	102
④訪問	383	418	205
⑤同行	182	131	158
⑥情報共有	—	—	1,289
⑦担当者会議	335	345	308
⑧個別支援会議	181	93	106
⑨関係者会議	1,149	1,379	623
計	8,060	8,004	9,232

※令和 7 年度より「⑥情報共有」の項目を追加

■障がい種別件数①（障がい者）

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
①身体障がい	肢体不自由	393	584
	聴覚障がい	403	128
	言語障がい	0	0
	視覚障がい	212	134
	内部障がい	42	44
②発達障がい	523	388	85
③高次脳機能障がい	199	68	15
④知的障がい	1,449	989	921
⑤精神障がい	2,577	2,530	4,181
⑥難病	87	298	306
⑦医療的ケア	—	—	5
⑧重複障がい	56	215	76
⑨不明	204	173	297
⑩なし	46	67	112
計	6,191	5,618	7,144

※令和 7 年度より「肢体不自由・聴覚障がい・言語障がい・視覚障がい・内部障がい」を①身体障がいに統合。「⑦医療的ケア」の項目を追加。

■障がい種別件数②（障がい児）

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
①身体障がい	肢体不自由	120	137
	聴覚障がい	8	9
	言語障がい	0	0
	視覚障がい	0	0
	内部障がい	11	36
②発達障がい	838	1,013	901
③高次脳機能障がい	0	8	0
④知的障がい	192	288	442
⑤精神障がい	37	15	37
⑥難病	88	100	27
⑦医療的ケア	—	—	43

⑧重複障がい	148	260	90
⑨不明	404	492	404
⑩なし	23	28	27
計	1,869	2,386	2,088

※令和 7 年度より「肢体不自由・聴覚障がい・言語障がい・視覚障がい・内部障がい」を①身体障がいに統合。「⑦医療的ケア」の項目を追加。

(2) 障害者生活支援センター主催事業

①ピアサポート事業

■事業説明：ピアサポーターと利用者（当事者）が事業を通じた交流により、身近な相談相手としての周知を行うとともに、当事者間のネットワークを構築することを目的としてピアサポート事業を実施。

■参加費：無料（実費負担あり）

■実施内容

実施日	内容	参加人数	場所
7 月 13 日	『ゆったり茶話会①～ゲーム～』	5	自由ヶ丘コミュニティ・センター
12 月 14 日	『ゆったり茶話会②～しめ縄作り～』	4	メイトム宗像
2 月 8 日	『ゆったり茶話会③～カラオケ～』	3	サウンドパーク宗像王丸店

(3) 障害者生活支援センターのその他の関連事業

■会議や研修への参加・協力

会議・研修名	実施時期
・宗像市障害者自立支援協議会 全体会	5 月 22 日
・宗像市障害者自立支援協議会 就労部会	4 月 28 日、6 月 23 日、9 月 29 日、1 月 27 日、2 月 19 日
・宗像市障害者自立支援協議会 子ども部会	5 月 7 日、6 月 30 日、7 月 15 日、11 月 12 日
・宗像市障害者自立支援協議会 権利擁護部会	7 月 15 日、10 月 14 日
・宗像市障害者自立支援協議会 ネットワーク会議（障がい児含む）	6 月 18 日、7 月 8 日、9 月 18 日、1 月 14 日
・障害者自立支援協議会事務局会議	11 回
・重層的支援体制整備事業支援調整会議	4 月 24 日、5 月 22 日、6 月 26 日、9 月 25 日、11 月 27 日、1 月 22 日、2 月 26 日
・宗像市要保護児童対策協議会代表者会議	7 月 1 日
・九州小児在宅医療支援研究会	7 月 19 日
・ひきこもり支援者研修会	7 月 25 日
・福岡県障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成研修	7 月 31 日、8 月 29 日
・スクールソーシャルワーカー支援連携会議	5 月 28 日、6 月 25 日、7 月 23 日、8 月 27 日、9 月 24 日、10 月 22 日
・要保護児童対策地域協議会 子ども支援連携会議	5 月 7 日、7 月 2 日、3 月 4 日
・相談支援専門員初任者研修	5 月 1 日～31 日、7 月 17 日、18 日、8 月 4 日～14 日、18 日、19 日、9 月 29 日、30 日、10 月 9 日、10 日、11 月 11 日、12 月 22 日、23 日

・福岡県立むなかた特別支援学校説明会	5月15日、10月3日、3月5日
・市町村配置医療的ケア児等コーディネーター連絡会	8月4日、3月6日
・宗像市福祉力向上研修会	8月25日
・地域自立支援協議会担当者会議	9月8日
・福岡県身体障がい者相談員研修会	9月10日
・集団指導	9月19日
・むなかた福祉マルシェ	9月13日
・アルコール問題に関する研修会	9月18日
・医療的ケア児等コーディネーター養成研修	10月11日～13日
・障がい者虐待防止センターネットワーク会議	10月31日
・ひきこもり支援者等地域ネットワーク会議 (宗像・遠賀地域)	10月17日
・難病従事者等研修会（在宅医療支援者研究会）	11月19日
・共生フェスタ	12月6日
・地区別相談員交流会	1月19日、3月16日
・就学相談説明会	2月3日
・福岡県障がい者差別解消相談に係る情報交換研修会	2月5日
・障がい者相談支援ネットワークふくおか合同研修	2月28日
・就労選択支援員養成研修成果報告会	3月12日
・地域連携推進会議	3月31日

（４）宗像市登録手話通訳者等派遣事業

■事業説明：聴覚、言語機能または音声機能の障がいのため他者との意思疎通を図ることに支障がある障がい者等に対し、市が登録した手話通訳者または要約筆記者を派遣し、意思疎通の円滑化を図ることを目的に事業を実施。

■派遣申請者数（人数）

派遣申請者数	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	30	15	1

■内容（件数）

項目	令和５年度	令和６年度	令和７年度
①手続・相談	4	2	1
②教育	0	0	0
③医療・保健	26	13	0
④就職活動	0	0	0
⑤その他	0	0	0
計	30	15	1

■区分（件数）

項目	令和５年度	令和６年度	令和７年度
①手話通訳等	30	15	1
②要約筆記等	0	0	0
計	30	15	1

(5) 宗像市障害者虐待防止センター事業

①宗像市障害者虐待防止センター事業実績報告

■事業説明：「障害者の虐待防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」により平成24年度から宗像市の委託事業として受託。障がい者虐待の早期発見と発生防止ならびに障がい者虐待が起きないように個々のケース対応を充実するとともに、市民や障がい福祉サービス事業者への周知が主な役割。

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①通報受理	7件	7件	4件
②事実確認実施	20件	10件	6件
③虐待と判断	3件	0件	0件
④相談・指導・助言	2件	1件	3件
⑤実人数	7人	7人	4人

②家庭訪問等個別支援事業

■障がい者虐待の未然防止のため、過去に虐待があった障がい者の家庭等を訪問し家族関係の修復や不安の解消に向けた支援を行う。

■家庭訪問件数：0件

■人数：0人

③宗像市障害者虐待防止研修会の実施

■事業説明：障がい者虐待防止や早期発見、適切な支援につなげるため、市内の障がい福祉事業所を対象に、障がい者虐待防止及び権利擁護への理解を深める研修を実施した。

なお、本研修は今年度、宗像市障害者自立支援協議会権利擁護部会との共同開催により実施した。

■実施日：令和7年10月14日

■参加者：33事業所 40名

■テーマ：「障害者虐待防止の概要について」

■講師：宗像市障害者虐待防止センター センター長 酒見 美加氏

14 大島福祉センター「ふれ愛センター」運営事業

(1) 大島福祉センター「ふれ愛センター」運営事業（宗像市指定管理業務）

■事業説明：大島福祉センター「ふれ愛センター」の指定管理を受け、社会福祉協議会が施設を管理・運営している。

■大島福祉センター「ふれ愛センター」年間利用者集計表

	高齢者	一般	中学生以下	島外	計	対前年比較
令和7年度	1,599人	75人	10人	79人	1,763人	-2人
令和6年度	1,579人	89人	9人	88人	1,765人	-570人
令和5年度	2,006人	128人	71人	130人	2,335人	

■利用施設別延べ利用者数

	1階ホール	1階会議室	2階会議室	いこいの部屋	調理実習室	計	対前年比較
令和7年度	1,681人	1,642人	0人	0人	0人	3,323人	1人
令和6年度	1,673人	1,636人	0人	0人	13人	3,322人	-1,032人
令和5年度	2,227人	2,115人	0人	5人	7人	4,354人	

■施設利用料金実績及び施設稼働日数

	稼働日数 (日)	1階ホール (円)	1階会議室 (円)	2階会議室 (円)	調理実習室 (円)	計 (円)	対前年比較 (円)
令和7年度	244	5,810	4,090	0	0	9,900	-6,460
令和6年度	250	8,080	7,310	0	970	16,360	-8,470
令和5年度	248	15,700	4,880	0	4,250	24,830	

(2) いきがい活動通所事業(大島ミニデイサービス:宗像市指定管理業務)

■事業説明:虚弱高齢者及び単身高齢者などを対象に、生きがいづくりと心身機能の維持向上を図るため、食事・入浴・レクリエーション等の活動を行う。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数	1,687人	1,384人	1,425人
	対前年比較	-303人	41人

(3) 配食サービス(市委託事業)

■事業説明:「食」に課題のある高齢者等を対象に、栄養バランスの取れた食事を提供するとともに、見守りを行う。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数	1,093人	1,109人	1,178人
	対前年比較	16人	69人

15 指定介護保険事業の適切な運営

(1) 訪問介護事業

■事業説明:福岡県指定の訪問介護事業所として、訪問介護計画に基づく訪問介護サービスの提供を行う。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
延べ利用者数	534人	593人	644人
	対前年比較	59人	51人

要介護度別 延べ利用者数	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計	対前年 比較
令和7年度	346人	146人	44人	41人	67人	644人	51人
令和6年度	380人	80人	44人	47人	42人	593人	59人
令和5年度	295人	92人	47人	56人	44人	534人	

要介護に占める 要介護1・2の割合	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	72.5%	77.5%	76.3%

(2) 従前相当訪問サービス・訪問型サービスA居宅介護支援事業

■事業説明:宗像市指定の介護予防・日常生活支援総合事業第1号訪問事業所として、訪問介護サービスを行う。

利用者数	令和5年度	令和6年度	令和7年度
要支援1	78人	88人	135人
要支援2	250人	329人	367人

サービス A	23 人	13 人	13 人
計	351 人	430 人	515 人
対前年比較		79 人	85 人

(3) 居宅介護支援事業

- 事業説明：介護保険利用者の立場に立ち、居宅介護支援サービスの作成・管理・更新等を行い、個々の利用者に最適な介護サービスの提供を行う。

(単位：人)

要介護度別 延べ利用者数	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計	対前年 比較
令和 7 年度	0	0	685	372	272	173	80	1,582	39
令和 6 年度	0	0	663	383	287	159	51	1,543	58
令和 5 年度	0	0	541	397	313	162	72	1,485	

(4) その他の事業

■ホームヘルパーステーション

- ・介護職員等処遇改善加算の算定
- ・介護人材確保職場環境改善等事業費補助金の活用
- ・高齢者施設等物価高騰対策支援金等の活用
- ・福岡県ヘルパー連絡会事業への協力
- ・宗像市介護の職員づくり応援事業への参加
- ・宗像市介護職員人材マッチング事業への参加
- ・事業所指定更新申請（訪問介護事業）

■居宅介護支援センター

- ・介護支援専門員更新研修への参加
- ・認定調査員現任研修への参加
- ・宗像市在宅介護実態調査業務の受託
- ・事業所指定更新申請（居宅介護支援事業）
- ・高齢者施設等物価高騰対策支援金等の活用

■各事業共通

- ・経営改善計画に基づいた事業所経営
- ・集団指導への参加
- ・事業継続計画（BCP・自然災害編、感染症編）の見直しと職場研修・委員会の実施
- ・苦情解決第三者委員会の開催
- ・「虐待防止（身体拘束）の指針」に係る委員会への参加
- ・外部研修会への参加
- ・職員会議、研修会の定例開催

16 指定障害福祉サービス事業の適切な運営

(1) 居宅介護事業・同行援護事業

■事業説明：障がいのある人の介護、家事の支援や視覚障がい者の外出支援を行う。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数	172人	136人	186人
	対前年比較	-36人	50人

(2) 障害者総合支援法による地域生活支援事業（移動支援）

■事業説明：障がいのある人の外出支援を行う。現在、宗像市・福津市・岡垣町の指定を受けている。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数	54人	11人	12人
	対前年比較	-43人	1人

17 市受託事業の適切な運営

(1) 要介護認定調査業務

■事業説明：市からの委託を受けて、要介護認定調査を行う。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
要介護認定調査件数	1,359件	1,454件	1,426件
	対前年比較	95件	-28件

(2) ひとり親家庭等日常生活支援事業

■事業説明：一人親家庭で特別な事情により支援員による家事支援が必要な世帯に家事支援活動を行う。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数	0人	0人	4人
	対前年比較	0人	4人

(3) 養育環境改善育児家事支援事業

■事業説明：児童虐待（ネグレクト）等により、子どもの養育環境に問題がある世帯に対して支援員による家事支援活動を行う。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数	13人	24人	21人
	対前年比較	11人	-3人

18 スマイルハート事業

(1) スマイルハート事業

■事業説明：介護保険適応外の家事援助サービス及び身体介護サービスを提供し、在宅での自立支援を行う。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
延べ利用者数	259人	222人	216人

	対前年比較	-37 人	-6 人
--	-------	-------	------

19 発達支援センター療育施設「のぞみ園」運営事業

■宗像市委託事業

(1) 発達支援センター療育施設「のぞみ園」運営事業

- 事業種別 ①児童発達支援センター、保育所等訪問支援【療育関係業務】
②障害児相談支援事業【計画相談支援関係業務】
- 事業説明 ①児童発達支援センター
児童発達支援とは、障がい児通所支援の一つで、就学前の児童を対象に、発達に支援が必要な児童が通い、療育支援サービス等を受けるための施設です。遊びや学びの体験等を通して日常生活の自立支援や機能訓練などを行います。
また、令和6年6月に制度上の位置づけが「児童発達支援センター」に変更指定され、幅広い高度な専門性に基づく支援、地域の通所支援事業所との連携支援、インクルージョンの推進、発達相談の入り口としての機能など、その役割が広がっている。保育所等訪問支援では、訪問先施設の意向、困りごと等を受け止め、発達段階や特性を踏まえた関わり方や環境等について助言する。
実施主体は宗像市で、社会福祉協議会が受託・運営している。
- ②障害児相談支援事業
障がい児相談支援とは、障がい児が障がい児通所支援（児童発達支援・放課後等デイサービスなど）を利用する前に障がい児支援利用計画を作成し（障がい児支援利用援助）、通所支援開始後、一定期間ごとにモニタリングを行う（継続障がい児支援利用援助）等の支援を行う。
- 事業内容 ①個別と小集団の保育活動を中心とした総合的な療育と支援を行う。
②作業療法士による機能訓練及び感覚統合訓練、言語聴覚士によるコミュニケーション支援など利用者への直接的な支援と、子どもに関する保護者の悩みに対し、専門的なアドバイスをする間接的な相談支援を行う。
③水泳の指導を専門の指導員が週1回行う。（金曜日）
④嘱託医による医療相談を通じて、保護者及びスタッフに対し、小児神経科医の専門的なアドバイスを行う。
⑤保育所等訪問支援
⑥臨床心理士の配置により、発達検査及び保護者支援を充実する。
- 運営体制 ①園長 1人
②管理者 2人
③児童発達支援管理責任者 1人
④相談支援専門員 3人
⑤指導員 10人
⑦言語聴覚士 2人
⑧作業療法士 1人
⑨臨床心理士 1人
⑩プール指導員 1人
⑪託児スタッフ 3人
⑫事務員 1人
⑬嘱託医 1人

(2) 「のぞみ園」運営事業実績

① 園児数の推移

項目／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入園者数	24	12	13	11	4	12	8	7	9	0	1	0	101
退園者数	0	0	1	2	3	1	1	0	2	1	3	87	101

今年度 登録人数	118	130	142	151	152	163	170	177	184	183	181	94	
前年度 登録人数	147	152	159	164	167	174	181	188	191	190	189	93	

② 月別療育日数、実績人数

項目／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
療育日数	20	20	20	22	20	20	22	18	20	19	18	21	240日
実績延人数	205	276	331	372	298	396	398	337	399	370	314	338	4,034人
今年度一日 平均利用人数	10.3	13.8	16.6	16.9	14.9	19.8	18.1	18.7	20.0	19.5	17.4	16.1	16.8人
前年度一日 平均利用人数	12.1	15.3	17.2	15.9	15.7	16.9	17.1	15.9	18.2	17.9	18.3	15.0	16.3人

③ 保育所等訪問支援実績人数（令和8年3月末 登録者統計）

項目／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
今年度延べ 利用人数	4	2	1	0	0	2	2	2	2	2	2	0	19人
前年度延べ 利用人数	2	6	3	4	3	4	4	3	4	8	7	4	52人

④ 兄弟児託児状況

■事業説明：保護者が子どもとしっかり向き合えるよう、療育、勉強会、保護者会などに参加する時間帯に兄弟児の託児を行っている。託児の利用料は、一回につき500円～1,000円を徴収。

■運営体制：登録15人

項目／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
今年度託児 延べ利用人数	2	5	5	8	6	7	3	3	1	4	2	3	49人
前年度託児 延べ利用人数	4	3	3	11	6	7	10	7	5	6	7	14	83人

⑤ 送迎利用状況

項目／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
今年度送迎 延べ利用回数	36	59	51	52	65	82	87	66	75	65	55	72	765回
前年度送迎 延べ利用回数	43	48	57	61	55	51	74	62	56	67	57	43	674回

（3）「のぞみ園」訓練等の状況

① 言語聴覚士の関わり（週5回。2人体制。個別療育・個人懇談・関係機関との連携等）

項目／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
今年度 個別療育	79	105	116	119	100	120	117	108	122	108	92	95	1,281人

前年度 個別療育	80	93	106	101	97	113	120	124	112	104	109	89	1,248 人
-------------	----	----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	---------

② 作業療法士の関わり（週 1 回程度。個別療育・個人懇談・関係機関との連携等）

項目／月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
今年度 個別療育	23	16	18	24	21	21	24	22	22	20	18	24	253 人
前年度 個別療育	19	19	21	17	26	22	19	23	29	20	17	20	252 人

③ 保育の個別

項目／月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
今年度個別 保育実績	11	11	13	23	26	23	21	24	29	36	34	46	297 人
前年度個別 保育実績	12	8	15	18	14	8	14	15	19	26	31	29	209 人

（４）嘱託医の医療相談

① 嘱託医の医療相談（年 11 回実施）

実施月	相談件数	実施月	相談件数
4 月	0 件	10 月	1 件
5 月	1 件	11 月	1 件
6 月	1 件	12 月	1 件
7 月	1 件	1 月	1 件
8 月	1 件	2 月	1 件
9 月	1 件	3 月	1 件
計		11 件	

（５）ぱんだルームの状況

■事業説明：宗像市乳幼児健診後のフォロー事業として、専門的な支援が必要な幼児を対象に、遊びを通して子どもの発達と子育てを支援。月に 1～2 回程度開催。

項目／月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
実施回数	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	20
延べ 利用人数	0	4	4	4	3	5	6	10	9	10	10	0	65

（６）障害児相談支援事業の取り組み

■事業説明：障がい児相談支援とは、障がい児が障がい児通所支援（児童発達支援・放課後等デイサービスなど）を利用する前に障がい児支援利用計画を作成し（障がい児支援利用援助）、通所支援開始後、一定期間ごとにモニタリングを行う（継続障がい児支援利用援助）等の支援を行う。

単位：人

延べ利用者数 ／ 項 目	新規	更新	変更	終了	モニタ リング	計	対 前 年 比 較
令和 7 年度	160	230	53	3	562	1,008	250
令和 6 年度	127	201	48	1	381	758	▲43
令和 5 年度	134	194	75	2	396	801	448

令和4年度	132	143	54	7	17	353	
-------	-----	-----	----	---	----	-----	--

(7) その他の取り組み

① 児童発達支援事業の適正な運営について。

- 「児童発達支援ガイドライン」に基づいて、適正な事業運営に努めた。また、令和6年4月に改訂された報酬改定に伴い、事業所に課せられた新たな義務的な取り組みとともに、改定後の報酬体系に基づく適正な請求事務を行った。
- 義務的な取り組みとして、身体拘束の適正化及び虐待防止、「業務継続計画」の見直し、感染症対策、各種の指針・マニュアル等に基づく研修や訓練、委員会の開催などがある。さらに、事業所情報公表システムへの入力、アンケートに基づく自己評価と評価結果等の公表なども行った。

② のぞみ園と地域資源(民間事業所・関係機関・幼稚園・保育所・小学校)との連携

- 昨年度同様、発達支援室との連絡会や7者会議を通じて、宗像市における障がい児施策の課題等について協議し、宗像市の関係部署と共に療育事業の今後のあり方について検討した。
- 卒園児の、学校との接続支援は重要であるため、入学前後の時期を重点期間と位置付け、入学後の学校生活が円滑に行えるように、今年度も学校との情報交換を行った。
- 地域全体での発達支援の底上げを図るため、地域の保育所・幼稚園、事業所等と合同で勉強会を開催した。

③ 職員の資質向上に向けた研修会参加等の実施

※カッコ内の人数は職員の人数

■職員全体研修(法令研修含む)

6月17日～7月1日	感染症予防研修(前期) 夏場に流行する感染症予防対策(1人)
6月27日	感染症・熱中症予防、衛生管理について(全職員)
7月25日	業務継続計画Ⅳ 自然災害BCPについて(全職員)
8月8日	「身体拘束廃止・防止の手引き」の解説(全職員)
8月25日	バス送迎における安全管理徹底のための研修(1人)
9月28日	救命救急講習(8人)
10月10日	ハラスメントについて(全職員)
12月10日	冬季の感染症等拡大防止について(全職員)
1月16日	虐待防止について(全職員)

■資格取得・維持に関する研修

9月15日～16日、 10月15日～16日	強度行動障がい支援者養成研修(1人)
11月24、25、31日 2月1日	初級パラスポーツ指導員養成講習会(1人)
1月30、31日	児童発達支援管理者責任者実践研修(1人)

■技能・スキルアップ研修

5月14日	しえるの会発達障がいを知る講座「ワーキングメモリーと作文の支援」(2人)
5月30日	宗像市子どもの安全に関する研修会(1人)

5月30日	のぞみ園勉強会（就学相談）
6月4日	しえるの会発達障がいを知る講座「ワーキングメモリーと学習支援」（1人）
6月12日	福岡県支援者向け研修会発達特性の理解「ASDの特性について」（10人）
6月16日～17日	福岡県相談支援従事者・児発管専門コース別研修（1人）
6月19日	福岡県支援者向け研修会発達特性の理解「ADHDの特性について」（5人）
6月20日	のぞみ園勉強会（地域連携）
7月9日	しえるの会保護者・支援者合同講演会（3人）
8月6日	福岡県発達障がいに対する地域相談・支援機能強化事業（4人）
8月8日	のぞみ園勉強会（視覚支援）
10月24日	のぞみ園勉強会（発達障がい）
10月29日	しえるの会発達障がいを知る講座「子どもの不安と強いこだわりへの支援」（3人）
12月19日	のぞみ園勉強会（交流会）
1月30日	のぞみ園勉強会（事例検討）

■その他

5月7日	就学相談説明会
6月11日	保護者勉強会（放課後デイサービスについて）（講師：北岡）
6月18日～	就学相談（15回開催）（1人）
6月18日他	自立支援協議会ネットワーク会議
8月8日	玄海風の子保育園園内学習会 「障がい理解と特性に合わせた関わり方」（松延 ST を講師派遣）
8月21日	保護者勉強会（私の家族のつむぎ方について）（講師：小野）
10月23日	保護者勉強会（サポートブックについて）（講師：幸島）
11月13日	のぞみ園 MAMA CAFÉ OB ママ達とおしゃべり café のぞみ園・シブリングス共催
11月14日	児童発達支援らびっと講演会「子どもの育ち、感覚統合」（小野 OT を講師派遣）
12月4日	年長児交流会（小学校単位の交流）
1月28日	保護者勉強会（伝える力を育もう）（講師：松延）
2月6日	市発達支援コーディネーター研修（松延 ST、小野 OT を講師派遣）

事業報告書資料集

■社会福祉協議会及び宗像市社会福祉協議会の概況

1. 社会福祉協議会の位置付け

(1) 社会福祉協議会の位置づけ

社会福祉協議会は、社会福祉法第 109 条に「地域福祉の推進を目的とする民間の中心的な団体」として規定されている。また、社会福祉協議会の組織構成や事業等も社会福祉法に定められており、その活動は「民間性」と極めて高い「公共性」が特徴である。

(2) 宗像市社会福祉協議会の位置づけ

本会は、前記の法的位置づけ、ならびにその特徴と事業実績により、宗像市の総合計画や各種福祉計画には、福祉行政の一翼を担い、民間の福祉活動を推進する中心的な団体として位置づけられてきた歴史がある。

(3) 宗像市社会福祉協議会の活動方針

本会の活動方針は、第五次地域福祉活動計画（計画年度：令和 7～11 年度。以下「第五次計画」という。）による。第五次計画には、本会の基本的な活動方針として以下の項目を掲げている。

- ①住民主体・住民参画による社会福祉協議会活動の推進
- ②住民主体による地域づくりの推進
- ③地域共生社会の実現に向けた福祉教育の推進
- ④利用者本位の介護・福祉サービス供給体制の強化
- ⑥法人経営体制の強化

2. 宗像市社会福祉協議会の経過

年 度	主な内容
昭和 34 年度	・任意団体として宗像町社会福祉協議会が発足
昭和 45 年度	・社会福祉法人として認可
～昭和 57 年度	・東部児童館事業受託 ・老人・心身障害児・身体障害者家庭奉仕員派遣事業受託 ・ボランティア育成事業開始
昭和 60 年度	・福祉ボランティア活動連絡協議会設立 ・宗像市社会福祉協議会基盤強化計画書策定
昭和 61 年度	・福祉教育推進指定校事業開始
昭和 62 年度	・小地域福祉会組織化事業開始（地区福祉懇談会開始） ・障害児通園事業「のぞみ園」受託
昭和 63 年度	・宗像ユリックス内に社会福祉センター完成・本会移転 ・愛のネットワーク活動、福祉の里づくり事業開始 ・自由ヶ丘地区社会福祉会発足 ・電話訪問相談事業開始（～平成 10 年度）
平成元年度	・やさしさ宅配人（愛のネットワーク活動協力員）登録事業開始
平成 8 年度	・第一次地域福祉活動計画書策定
平成 9 年度	・在宅介護者組織化事業開始
平成 10 年度	・総合保健福祉センター「メイトム宗像」完成・本会移転
平成 12 年度	・介護保険制度の実施にともない居宅介護支援事業・訪問介護事業開始 ・要介護認定調査業務・軽度生活援助事業受託 ・障害者生活支援事業受託
平成 13 年度	・ボランティアセンター事業受託

	・在宅介護者の会ひまわり発足、在宅介護者組織化事業から支援事業へ
平成 14 年度	・宗像市・玄海町社会福祉協議会合併合同委員会設置 ・(新) 宗像市社会福祉協議会誕生 (平成 15 年 3 月 31 日)
平成 15 年度	・玄海 4 地区に小地域福祉会の組織化
平成 16 年度	・宗像市・大島村社会福祉協議会合併合同委員会設置 ・(新) 宗像市社会福祉協議会誕生 (平成 17 年 3 月 31 日) ・第二次地域福祉活動計画書策定
平成 17 年度	・社会福祉協議会福祉教育推進計画書策定
平成 18 年度	・機能訓練 B 型 (いきいきふれあいサロン) 事業を介護予防いきいき交流会事業へ移行 ・障害者自立支援法による指定相談支援事業、障害福祉サービス事業、地域生活支援事業を開始
平成 20 年度	・「メイトム宗像」が市民活動交流館としてリニューアル ・「宗像市ボランティアセンター」が市民活動ボランティア NPO センターの一部となる ・「のぞみ園」が発達支援センター療育施設の一部となる
平成 21 年度	・地域福祉の推進に関する市民の意識調査を実施 ・非常・災害時職員行動計画書 (平成 21 年度版) 作成 ・第三次地域福祉活動計画策定委員会設置
平成 22 年度	・第三次地域福祉活動計画書策定 ・第二次経営改善計画策定 ・市窓口ワンストップサービス化に伴い、障害者生活支援センターが宗像市役所内に移転
平成 23 年度	・第二次福祉教育推進計画策定 ・東日本大震災救援・復興ボランティアとして職員を派遣
平成 24 年度	・市保健福祉会館 (ゆうゆうぷらざ) の閉館に伴い本会玄海支所を廃止 ・障害者基幹型相談支援センター事業を受託 ・宗像市障害者虐待防止センター事業を受託 ・宗像市社協自動販売機設置開始
平成 25 年度	・ライフサポート事業開始 ・認知症サポーター養成講座事業を受託
平成 26 年度	・福津市・古賀市社会福祉協議会と災害時相互協力協定を締結 ・宗像青年会議所と災害時相互協力協定を締結
平成 27 年度	・第四次地域福祉活動計画書策定
平成 28 年度	・第三次福祉教育推進計画書策定
平成 29 年度	・認知症サポーター活動支援事業を受託 (オレンジカフェの展開等)
平成 30 年度	・宗像市社会福祉法人連絡会を設立 (事務局)
令和元年度	・宗像市生活支援体制整備事業 (第 1 層・第 2 層 6 圏域) を受託
令和 2 年度	・法人化 50 周年 (記念広報誌を発行) ・第四次地域福祉活動計画の見直し
令和 3 年度	・法人後見事業において、被後見人の支援を開始
令和 4 年度	・宗像市、日本赤十字九州国際看護大学、県社協連携による災害ボランティアセンター設置訓練を実施
令和 5 年度	・災害ボランティアセンター資機材倉庫を設置 (3 市社協合同) ・むなかたボランティアシステムの運用開始
令和 6 年度	・令和 6 年 12 月、重層的支援体制整備事業 (相談支援業務) を受託、宗像市役所の福祉政策課内に相談支援コーディネーターを配置 ・第五次地域福祉活動計画策定
令和 7 年度	・重層的支援体制整備事業 (アウトリーチ事業、地域づくり事業、参加支援事業) の取り組みを開始

■用語の説明

【あ】

ICF

ICFは、2002（平成13）年にWHOが発表した国際生活機能分類である。ICFは、人間の生活機能と障がいについて「心身機能・身体構造」「活動」「参加」の三つのレベルで構成される「生活機能」としてとらえる。この三つのレベルは、「生命」「生活」「人生」と言い換えることができる。「生活機能」の三つのレベルが相互に、また「健康状態（疾患等）」や「背景因子（環境因子と個人因子）」との間で、相互作用を行うことを重視するのがICFの生活機能モデルである。

いきいきふれあいサロン

当初福祉会が行っていた「ふれあい会食会」や「楽しく食べて語ろう会」などの【ふれあい活動】に、介護予防いきいき交流会事業（市委託事業）による在宅虚弱高齢者への介護予防活動や簡単な健康チェック、機能訓練などを行う【いきいき活動】が取り入れられた事業。高齢者のとじこもり防止の要素もある。活動内容は、口腔ケアや栄養指導、運動指導などの介護予防活動と簡単な健康チェック、学習会、機能訓練（レクリエーション）、交流事業などである。また、「いきいきふれあいサロン」に参加できない（参加しない）高齢者への対応として、小地域ネットワーク活動との連携強化をすすめている。

【か】

声の広報活動

視覚に障がいがある人々へ、宗像市の広報紙などをCD-Rに録音して情報を届ける本会の障がい者福祉活動。現在「日の里テープの会」「グリーンボイス」「森林都市うぐいす」の3団体にこの活動を委託している。

【さ】

社会的包摂

ソーシャルインクルージョン（social inclusion）は、「社会的排除」の問題を解決する社会政策の理念として語られる「社会的包摂」と同意語である。「排除と包摂」という概念は、古くから用いられてきたが、これらが社会政策の重要な概念として登場するのは20世紀後期のヨーロッパにおいてである。特にフランスでは、1970年代以降、社会的不適応者（薬物依存者や非行少年など）や若年長期失業者、移民労働者など、既存の福祉国家の枠組みでは対応することが困難な人々の抱える問題が「新たな貧困」や「社会的排除」などの社会問題として認識されるようになり、このような人々を社会復帰させることが、社会政策上重要だと考えられるようになった。

社会福祉法第四条

地域住民、社会福祉を目的とする事業を経営する者及び社会福祉に関する活動を行う者は、相互に協力し、福祉サービスを必要とする地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるように、地域福祉の推進に努めなければならない。

小地域ネットワーク活動

主に民生委員と福祉会の地域ケア型ボランティア（名称は福祉委員や福祉員など様々）が協力して、単身高齢者・高齢者夫婦のみ世帯などの定期的な見守り・訪問活動、情報提供活動、できる範囲での生活援助活動などを行っている。小地域ネットワーク活動は、昭和63年に民生委員協議会創設記念事業「愛のネットワーク活動」として福岡県では開始されたが、現在では、福祉会などの日常的な「生活支援活動」として取り組まれている。

スマイルハート

宗像市社会福祉協議会独自の家事援助・軽介護サービス。障がい者や高齢者世帯等を対象に日常生活に必要な家事援助・軽介護サービスをホームヘルパーが提供し、在宅で自立した生活ができるように支援する有償サービス。

生活困窮者世帯

厚生労働省社会保障審議会「生活困窮者の生活支援の在り方に関する特別部会」の報告書では、「生活保護に至る前の段階」「生活保護受給者」といった「経済的困窮者」が主な支援対象者として想定されているが、「地域から孤立している者」「複合的な課題を抱えている者」への対策の必要性も掲げられている。つまり、この報告書における生活困窮者とは、「経済的困窮」「孤立」「複合的課題」などの生活・地域問題を抱える人々のことで、具体的には「生活保護に至る前の段階」「生活保護受給者」といった「経済的困窮者」や「ひきこもりの人」や「ゴミ屋敷生活している人」、「ホームレス」「生活困難を抱える精神・知的・発達障がいがある人」などと考えられる。

生活福祉資金貸付制度

低所得者（離職者）または障がい者、高齢者を対象に、小口の資金貸し付けと必要な援助・指導を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進、ならびに在宅福祉・社会参加の促進を図り、安定した生活を営めるようにすることを目的とした制度。実施主体は、福岡県社会福祉協議会。

ソーシャルインクルージョン (social inclusion)

※「社会的包摂」参照

【た】

地域包括ケアシステム

「地域包括ケアシステム」とは、介護が必要になった高齢者も、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるように、「医療・介護・介護予防・生活支援・住まい」の五つのサービスを、一体的に受けられる支援体制のこと。

地域共生社会

厚生労働省が掲げるビジョンで、2016年6月に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」の内容に盛り込まれた項目。地域住民や地域の多様な主体が分野や属性の壁を越えた協働を実践し、誰もが支え合う地域を創っていくことを目指す。

【な】

ノーマライゼーション

一般的には「共生社会」と訳されることが多い。どのような障がい者や高齢者、児童であっても人格を尊重され、人として同じ権利を享受し、地域社会（在宅）で主体的な生活と社会参加が保障されるのが正常（ノーマル）な社会であるという思想に基づき、地域の人々の正常な生活を実現していく取り組みを意味する。今日的には地域福祉や共生の基本的思想である。

【は】

ファンドレイジング

ファンドレイジング (Fundraising) とは、民間非営利団体 (NPO) が、活動のための資金を個人、法人、政府などから集める行為の総称。主に民間非営利組織の資金集めについて使われる用語。社協では「自主財源の確保」に関連する事業に使われる。

福祉会

生活課題、福祉問題を抱える要援護者が生活する小地域を活動範囲とし、要援護者の福祉問題をその人だけの問題とせず、地域住民みんなの問題として捉え、その解決策を考えたり予防したりするために、地域住民が組織的に福祉活動を推進する住民の自主的な組織。現在一般には「福祉会」と呼ばれ、市内13コミュニティを活動範囲とする福祉会を「地区福祉会」、行政区を活動範囲とする福祉会を「小地域福祉会」という。